

専修寺蔵

『尊號眞像銘文』

(広本)

総索引稿

金子彰
野村貴郎・大野耕司編
中川朋之・山口豊

凡例

一、本総索引稿は、重要文化財、三重県津市、高田専修寺蔵本、親鸞聖人写の『尊號眞像銘文(広本)』に用いられている総ての語を、複製本『親鸞聖人真蹟集成(第四卷)』(法蔵館)に基づいて収めたものである。

一、親鸞聖人写『尊號眞像銘文(略本) 総索引稿』(重要文化財 福井県法雲寺現蔵)は、『兵庫教育大学研究紀要』(第八巻 2号、昭和六三年三月)に、金子彰・森佐奈恵編で掲載している。

一、本『尊號眞像銘文』は、真宗で礼拝の対象としている、南無不可思議光如来・帰命盡十方無碍光如来など尊號、善導・源空・源信・聖覚・親鸞・勢至・龍樹・曇鸞・聖徳太子の画像の上下に書かれた銘文を集めたものである。編者は明記されていないが聖人自身であることは疑いない。尚、広本の二冊目の末尾に二十四行の本文とは別筆がみられるがこれは不採録とした。

一、広本、略本はそれぞれ以下の書写識語をもっている。

(広本) 「正嘉二歳(一二五八) 戊午六月廿八日書之 愚禿親鸞 八十六歳」

(略本) 「建長七歳(一二五五) 乙卯六月二日 愚禿親鸞 八十三歳 書寫之」

一、書中で引用されている銘文は、本総索引稿の末尾に一括して掲げた。

一、見出し語について

1、見出し語は、平仮名で歴史的仮名遣(字音語は字音仮名遣)を原則に統一した。

a、和語には、私に濁点を付した。

b、漢字の読み方は、底本に付されている仮名訓によることを原則とした。それ以外は、呉音を原則とした。

c、字音語の清濁は、底本に差されている朱声点を複製に依って判読して参照した。尚、略本にのみ見られる朱声

点によって清濁を確認したものも多い。

- 2、排列は、最終音節までの五十音順とした。
- 3、参照項目を設け、複合語の低位要素からも検索できるようにした。又、接頭語、接尾語も空見出しとし、そこから、その要素を含む単語を本項目として参照することが出来るようにした。
- 4、見出し語は、単語を原則とした。

a、動作性の漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語として扱った。

b、状態性の漢語に「なり」の付いた形は、二語として、漢語に助動詞「なり」の付いた形として扱った。但し、和語を語幹とする所謂形容動詞は、一語として認めた。

c、書中で引用されている銘文は、単語単位で掲出しないで、分割せずそのままの形で掲出した。

一、用例について

1、用例は、底本の文字を現行の表記様式に直して掲出した。底本の誤脱と判断されるもの等は一切手を加えなかつた。

2、朱筆箇所は、複製の判読できる箇所を(朱と注記するか、又はその右傍に傍線を引いたり



で囲んで示した。

3、用例の引用は、以下の通りとした。

a、自立語・付属語とも、原則として当該語のみを示した。

b、但し、活用語は、その用法に応じて下接語(又は語句)も示した。

4、用例の所在は、以下の通りとした。広本は本末の二冊からなり、用例も本末で所在を示した。

a、漢数字は、底本の複製本の頁である。

b、算用数字は、当該語のその頁での出現行数である。(本四五三は本の四五頁の3行目)
5、用例の排列基準の主なもの、以下の通りとした。

a、無活用語は、出現順に排列した。

b、活用語は、未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形の順に排列した。

c、同一単語で用例の表記が全く同じ場合には、初出例の下にまとめて示した。

付記、本総索引稿の編者の現職(平成八年十月)は以下の通りである。

金子彰(東京女子大学) 野村貴郎(武庫川女子大学) 大野耕司(兵庫県神戸市立本庄中学校)

中川朋之(兵庫県立兵庫高等学校) 山口豊(兵庫県立姫路北高等学校)

尚、左記の二氏の助力を得た。

小泉秀樹(三重県白山町立白山中学校) 北川真弓(兵庫県立飾磨工業高等学校)

あ

あかつき(暁)

アカツキ 末巻5巻1

あきらかなり(明)

アキラカニ 本巻2

アキラカニ 末十5四4

カキラカニ 末三1

アキラカナル 末癸4

あくくゑあくくじん(悪鬼悪神)

悪鬼悪神 本八〇4

あくこふ(悪業) ↓ばむなう

あくこふ

あくしゆじねんへい(悪趣自然閉) ↓わうせちごあくしゆ

あくしゆじねんへい

悪趣自然閉 本一九6

あくじん(悪神) ↓あくくゑ

あくじん

あくじん

あさたいし(阿佐太子)

阿佐太子 本八六一

阿佐太子

あし(足) ↓みあし

あし

あたふ(与)

アタハスト 末四6

アタフルニ 本三三3

あぢはひ(味)

アチワイ 末五5

あづかる(与)

アツカラスト 本八二6

アツカルモノ 本三三3

あのかぼだい(阿耨菩提)

阿耨菩提 末癸2

あひかなふ(相叶)

アヒカナヘリ 本五6

あひつぐ(相繼)

アヒツクト 本三三5

あふ(会)

アフテ 本三三1

あぶぐ(仰)

アオキ 末三六6

あまねく(遍)

アマネク 末八4

あまる(余)

アマレル 本七二5

あみだ(阿弥陀)

阿弥陀 本三六三5

あみだによらい(阿弥陀如来)

阿弥陀如来 本三三二2

あみだぶち(阿弥陀佛) ↓な

もあみだぶち

阿弥陀佛 本三三〇1

阿弥陀佛 本二六4

あらはす(表)

アラハシ 本七四七6

アラハシ・タマヘル本三三5

アラワシ 末六4

アラハス(連体法)

アラハセリ 本三三六三1

あらはる(現)

アラハレタマフナリ 本三三六4

あり(有)

アラス 本三三六六4

アラス

アラサル 本八二1

アリ 本三三六六6

アリト 末八五八五三3

アリト 本三三三三4三6

アリト 末四二元四三二

アリト 三三6

アル(連体法) 本三三二九4

アルヘカラスト 末三三1

アルヘシト 本三三3

ありがたし(有難)

アリカタキ 本三三2

あわつぶ(泡粒)

アワツフ 本三三3

あんやう(安養)

安養 本一七五

あんやうじやうせち(安養淨刹)

安養淨刹 本三三2

あんやうじやうせち(安養淨刹)

安養淨刹 末四4

あんやうじやうせち(安養淨刹)

安養淨刹 本二七四七1

あんらく(安楽)

安楽 末八一

あんらくこく(安楽国)

安楽国 末三三5

あんらくじやうせち(安楽淨刹)

安楽淨刹 本四6

あんらくじやうせち(安楽淨刹)

安楽淨刹 本三三六三34

あんらくじやうせち(安楽淨刹)

安楽淨刹 本三三六三34

安樂浄土 本七1七6三2

イタラシムルヲ 本四5

安楽世界 本五2

イタルト 本三3四2

あんらくせかい (安楽世界)

イタル 本三1

い

イタルヲ 本二五3

いち (一)

末八6九1

いち (一)

末八6九1

い (易)

末三6三1

いちかうせんじゆ (一向専修)

い (易)

末三6三1

いちきやう (一行)

末六1

い (易)

末四4

いちさいしじゆ (一切衆生)

末六1

い (易)

末三5

いちさいぜんこん (一切善根)

本六三3

い (易)

末三5

いちさいぜんこん (一切善根)

本六三5

い (易)

本七2

いちさいぜんこん (一切善根)

本六三5

い (易)

本七5

いちさいぜんこん (一切善根)

本七5

い (易)

末四5

いちしやう (一切善根)

末四5

い (易)

末四5

いちしやう (一切善根)

末四5

い (易)

本四1

いちしむ (一心)

本四4

いちねむきあいしむ (一念喜愛心)

い (言・云・曰)

末六1

いちねむきやうき (一念慶喜)

本八3

いちもん (一門)

本八6

いづ (出)

本三3

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

い (言・云・曰)

本三1

いふ (言・云・曰)

尋常

横ハ

閉ハ

昇ト

染香人

イフ

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

末六1

本八3

本八6

本三3

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

本三1

いまだ(末)

イマタ

本九二ノ九三

ウル也

末三二

要術

末二一

いる(入)

イルムト

末三二

迂ウヅル

↓こころう・さと

うし(牛)

末四二

えらぶ(選)

末九六三ノ一三二

イリテ

末五五

エシム

本七五六ノ一

うたがひ(疑)

本三二五四六

えんぎ(縁起) ↓ごえんぎ

三二五

イリヌレハ

本九一

エヌ

本八六

うたがふ(疑)

本五五

えんげち(演説) ↓でんどう

イルヘシト也

末三二

エム

本七二

ウタカハサレハ

本五五

えんげち

本八二

イルトナリ

本六六末三三

エムニ

本七二

ウタカフ(連体法)

末三三三四三六

お

本八二

イルト也

末九六

エタマフ

本六一

うち(内)

本四二七三

おうじ(應時)

本四二

いる(鏡)

イマイラセタリ

本六五

エタラム

本四二七三

ウチ

本四六

おうじ(應時)

いわう(易往)

易往

本三三

エタル

本三二

うぶちしゆつせみやうむりや

おうじ(應時)

いわうにむにん(易往而無人)

本三三

エタル

本三二

うくわう(有佛出世名无量光)

おうじ(應時)

易往而無人

本三三

エタル

本三二

うくわう(有佛出世名无量光)

おうじ(應時)

いん(因)

因

本三三末三三

エツレハ

末三三

うやまふ(敬)

おうす(憶)

いんち(因地)

因地

本三三

エテ

末三三

ウヤマフ(連体法)

末三三

おうす(憶)

いんる(因位)

因位

本三三

ウル

本三三末三三

え(依)

本三三

おうす(起)

う

ウルト

本三三

ウル

本三三末三三

えう(要)

末二二

おそし(遅)

う(迂)

ウルト

末三三

えうじゆち(要術)

末二二

おそし(遅)

おなじ(同)

オナシキ 本三六三九二

おのおの(各)

末六二

オノノ

おのづから(自)

本三三三三

おはします(御在)

オハシマス 本七一九九三

六九六

おはず(御在)

オハセシ 本五六一九四

おほきなり(大)

オホキニ 本三三二

オホキナル 末三三三三

末三三三三

本五二四

おほし(多)

オホカラス 本三三三

おほしめす(思召)

オホシメシテ 本七七六

オホシメス 末五二二

五五

おほせこと(仰言)

オホセコト 末六一

おほふ(覆)

オホハルレトモ 末五三三

五六

オホヘル

末五七六

おもし(重)

オモシカラス 本三三三

オモク 末三三三

オモキ 本二二二四

おもひしる(思知)

オモヒシルヘシ 末三三三

おもふ(思)

オモハ、 末三三三

オモフト 本三三三

オモフ(連体法) 本三三三

末三三三

オモフニ 本三三三

末三三三

オモフニ(二) 末三三三

オモヘト 本七二二二

末六二二二

おもむく(赴)

オモムクヘシ 末五七六

おむ(御) ↓ おむかたち・おむころろ・おむちかひ・おむ

むつかひ・おむめぐみ・おむをしへ

おん(恩) 末三三三

おむかたち(御形) 本三三三

御カタチ 本三三三

おむころろ(御心) 本三三三

御ココロ 本三三三

御コ、ロ 本三三三

おむちかひ(御誓) 末三三三

御チカヒ 本四六六

御チカヒ 八二末五二

おむつかひ(御遣) 本三三三

御ツカヒ 末三三三

おんどく(恩徳) 末三三三

恩徳 末三三三

おむめぐみ(御恵) 末三三三

御メクミ 末三三三

御メクミ 末三三三

おむをしへ(御教) 末三三三

御オシエ 末三三三

我か 本四三三二

が(助詞)

染香人 本三三三

カ 本三三三

海 末三三三

かい(海) 末三三三

かいけん(皆見) 末三三三

皆見 末三三三

かいしちたうひこく(皆悉到彼國) 末三三三

皆悉到彼國 末三三三

がうえん(強縁) 本三三三

強縁 本三三三

かうせい(高齋) 本三三三

高齋 本三三三

かうせいししよ(高齋之初) 本三三三

高齋之初 本三三三

かうばし(香) 本三三三

カウハシキ 本三三三

染香人 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく(我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく(我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく(我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

行者キヤウシャ 本二3 三1 八6

末六2

ぎやうす(行)
行スル 末九1 九2

きやうでん(経典)

経典 本四5 四3 五2

きやうらいくぜくわんおむだ
いぼさち(敬礼救世観音大菩薩)

敬礼救世観音大菩薩

本八9 1

きやうらいくぜだいじくわん
おむぼさち(敬礼救世大慈観音菩薩)

敬礼救世大慈観音菩薩

きらふ(嫌)
キラハヌコトヲ 本七6

キラハス 本五3

キライ 本二3

きり(霧)
キリ 末五5 五3 五5

末五4

きる(切)
キルト 本二9 5

キルナリ 本元6 末六2

く(接尾語) ↓はいはく・まう

さく

ぐす(具)

具スレハ

くぜくわんおむ(救世観音)

救世観音 本八6 二八九2

くぜぼさち(救世菩薩)

救世菩薩 本八七5

ぐそく(具足) ↓ぼむなうぐ

そく

くだく(碎)

クタキテモ

ぐち(愚癡)

愚癡

くどく(功德)

功德 本三六3 三六五2

ぐとく(愚禿)

愚禿

くに(国)

クニ

本三二 三二 三六四 4

八五一 六一 六一 四

くはし(詳)

クワシフ

くも(雲)

クモ

クモ(朱墨重ね書)

くやく(舊譯)

舊譯

くらし(暗)

クラシト

くらゐ(位)

クラキ

クモ(無生忍)

くわうによらい(光如来)

光如来

くわうみやう(光明)

光明

くわうみやうしんじむ(光明信心)

光明信心

くわしやう(和尚) ↓ぐゑん

じんくわしやう・せいかく

本五3

末三3 三5 五2

末五4

本四2

末四6

本九1 二四1 二四5

一五一 二五2 三九1

末四5 四5 四七2

本三六2

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

本四四5

くわしやう・ぜんだうくわ
しやう・どむらんくわしや
う・ほふいんせいかくくわ

しやう

和尚(シヤウ)

和尙

くわんおむせいしとう(観音勢至等)

観音勢至等

くわんしやうあんらくこく(願生安楽國)

願生安楽國

くわんしやうがこく(願生我國)

願生我國

くわんじやうじゆ(願成就)

願成就

くわんす(願)

願セハ

くわんひせかいさうしよく
わさむがいだう(觀彼世界相勝過三界道)

觀彼世界相勝過三界道

くわんぶちほんぐわんりきぐ

本五1

本五1

本五1

本五1

本五1

本五1

本五1

本五1

むくくわしや (観佛本願力遇
无空過者)

観佛本願力遇无空過者

本五5

ぐわんりき (願力) ↓じよう

がぐわんりき

願力 本二六三二一七三

六2

末三三四二五1

願力 本五1七二

ぐわんりきせふとくわうじや

う (願力攝得往生)

願力攝得往生 本七五

ぐる (魏)

魏 本五五五妾1妾5

魏 本五五三

くろおじやうど (歸於浄土)

歸於浄土 本三六五

くろす (歸)

歸セシムト 本七1

歸スヘシト也 末三1

くろにふす (歸入)

歸入シヌレハ 末三4

ぐるまち (魏末)

魏末 本五4

くるみやう (歸命)

歸命 本四二四三空2

六五3

くるみやうじんじふはうむげ

くわうによらい (歸命盡十方

无碍光如来)

歸命盡十方无碍光如来

本四1

くるみやうす (歸命)

歸命シ 本四6

歸命スレハ 本二1

ぐるやく (獲)

獲 本二六二

ぐろやく (逆)

逆 本三4

ぐるやくしんけんきやうとく

だいきやう (獲信見敬得大慶)

獲 信見敬得大慶 末五1

くろ (化)

化 末三1

くろこむとう (華嚴等)

華嚴等 末三1

くろしん (化身)

化身 本二四

くろちぢやうす (決定)

決定シテ 本四3

くろど (化土)

化土 本三5

くろぶち (化佛)

化佛 末三3

くろぶちぼさち (化佛菩薩)

化佛菩薩 末十一三

くろもち (化物) ↓ぼだうく

くろもち 末三1

化物 末三1

ぐるんく (源空) ↓ぎさいぐ

ぐるんく 末二4

源空 末二4

ぐるんくしやうにん (源空聖

人) 末七1七2

源空聖人 末七1七2

ぐるんじんくわしやう (源信

和尚) 本三4

源信和尚 本三4

ぐんまう (群萌) ↓よくじよ

うぐんまう 末五2

群萌 末五2

け (氣)

氣 本四2

げ (偈)

偈 本五2

けう (教)

教 末四4

けううぜむどむ (教有漸頓)

教有漸頓 末元6

けうしゆせそん (教主世尊)

教主世尊 本四5

けうちよく (教勅)

教勅 本五6

げし (下至)

下至 本七4

げしじふしやう (下至十聲)

下至十聲 本七2

けだい (懈怠) ↓どんこんけ

だい 本七4

げちせんざいしるいしむひふ

じやうどしもん (下智浅才之

類振臂赴浄土之門)

下智浅才之類振臂赴浄土

之門 末元4

類振臂赴浄土之門

下智浅才之類振臂赴浄土

之門 末元4

けり(助動詞)

ケリ 本五 4 六 5 七 4
八 3 八 9 3 九 1

ケル 本五 1 六 2 八 四 4
八 四 6 八 五 4 九 5

けん(牽) 本二 6

げんじやうごねむぞうじやう
えん(現生護念増上縁) 本八 2

げんぜんたうらいひちぢやう
けんぶちこぶちふおんふけは

うべんじとくしむかい(現前
當来必定見佛去佛不遠不假方
便自得心開)

現前當来必定見佛去佛不
遠不假方便自得心開本三 1

二(粉) 末四 2

二(去) 本一 七 1

ごあくしゆ(五惡趣) 本一 六 4 一 五

五惡趣 本一 六 4 一 五

末六 1

こう(功) 本五 6

こうがしやこふ(恒河沙劫) 本二 6

こうしゆつおせ(興出於世)
↓によらいしよいこうしゆ

つおせ 末四 4

興出於世 本八 四 2

ごえんぎ(御縁起) 本八 四 2

御縁起 本八 四 2

ごえんぎわち(御縁起曰) 本八 四 2

御縁起曰 本八 四 2

こく(虚空) 本五 3 三 4

虚空 本五 3 三 4

ごあくじむぢう(極惡深重) 末四 4

極惡深重 末四 4

ごるやく(五逆) ↓せうし
やうぼむぶごるやくはう
ぼふむかいせんだい・ゆい
ぢよごるやくひばうしや
うぼふ 本二 2

コ、 本五 2

こく(其國) 本三 1

其國 本三 1

ごこくぶるやくる(其國不
逆違) 本三 6

其國不逆違 本三 6

ごころ(心) ↓おむごころ・
ふたごころなし 本六 5 六 6 九 6

ごころ 本六 5 六 6 九 6

コ、ロ 十六 六 五 六 五

一三 三 一 三 四 二

三 四 三 三 三 三

三 四 三 三 三 三

三 四 三 三 三 三

三 四 三 三 三 三

三 四 三 三 三 三

三 四 三 三 三 三

ぐわちくわう(其最後佛名超
日光) 本三 5

其最後佛名超日光 本三 5

ごじふにぼさち(五十二菩薩)
五十二菩薩 本六 6

ごしん(御身) 末六 1

御身 末六 1

ごせいさく(御製作) 末七 5

御製作 末七 5

ごだうしやうじ(五道生死) 本三 2

五道生死 本三 2

ごちよくあく(五濁惡) 末五 1

五濁惡 末五 1

ごちよくあくじぐんじやうか
いおうしんによらいによじち
ごん(五濁惡時群生海應信如
來如實言) 末五 6

五濁惡時群生海應信如來
如實言 末五 6

こと↓みこと 本七 3 七 5 二 5

こと 本七 3 七 5 二 5

末四六五二六二

二一三三六五

四四四一五九四

本契一契二

本函二凸三

末三三六四

本五三三五四四

末五三六五二

本五二四二九一

二九二六二四六

四六四六五九六

四二五三六五五

六三三三六六一二

六五五六一六六七三

八五凸一

末言四言五三三

三三言一三二四

四四言二四五五

五二言五凸三凸五

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

このかた(此方)

コエテ 本一六六末五九一五九三

こらむず(御覽)

御覽シ 末四四

これ(之)

コレ 本五二一六二二一

コレ 四四四六六五

コレ 三三

コレ 末四六三二三四三

コレ 三三六五四七二

コレ 五五

コレ 末六一二

之

こむおしかい(今於此界)

今於此界

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

こむがう(金剛)

コムシヤウ 今生 本三二

ごんせふしやうぞうじやうえんじや(言攝生増上縁者)

言攝生増上縁者 本六九三

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

こむだう(金堂)

この(此)

コノ 本六一八五九六十三

十五二四三四六三

三三四四一四六四六

ごぶ(業)

ごぶ(業)

ごぶ(業)

ごぶ(業)

ごぶちほんぐわんりき(其佛本願力)

ごぶちほんぐわんりき(其佛本願力)

ごぶちほんぐわんりき(其佛本願力)

ごぶちほんぐわんりき(其佛本願力)

ごみ(業力)

ごみ(業力)

ごみ(業力)

ごみ(業力)

ごみ(御名)

ごみ(御名)

ごみ(御名)

ごみ(御名)

こゆ(超)

こゆ(超)

こゆ(超)

こゆ(超)

コエ

コエ

コエ

コエ

コエテ

コエテ

コエテ

コエテ

こむおしかい

こむおしかい

こむおしかい

こむおしかい

今於此界

今於此界

今於此界

今於此界

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

こむがう

さいじやうりやうくわん (裁成兩卷)

裁成兩卷 (サライキョウリョウケン)

さう (相)

相 (サウ)

さう (像)

像 (サウ)

さうけいいちこふ (相繼一劫)

相繼一劫 (サウケイイチコフ)

さうわう (蕭王)

蕭王 (サウワウ)

さかさま (逆)

サカサマ

さき (前)

サキノ世 (サキノヨ)

さしおく (差置)

サシオクヘシト也

サシオケト也

さす (助動詞)

サセタマヒシ

サセタマフヲ

サセタマヒタリ

さだまりなし (定無)

サタマリナキホト

さだまる (定)

サタマラストナリ

サタマリヌト

サタマルト

サタマル・クラキ

サタマルヲ

さだむ (定)

サタメサルコトヲ

さとり (悟)

サトリ

さとりう (悟得)

サトリウルト

さとの (悟)

サトリタマフト也

サトルト

サトル・タネナリ

サトルヲ

さはり (障)

サワリ

さはる (障)

サワルコト

さふ (障)

サエラレサル也

サエラルトナリ

ざぶぎやう (雜行)

ざぶぎやうざぶしゆ (雜行雜修)

雜行 (ザブギヤウ)

ざぶしゆ (雜修)

うざぶしゆ

ざり (助動詞) ↓ ず

ざる (猿)

サル

ざる (去) ↓ ゆきざる

サルト

さむぎひやくだいこふ (三祇百大劫)

三祇百大劫 (サンキヒヤクダイコフ)

さむくわん (三卷)

三卷 (サンクワン)

ざむぐゑす (懺悔)

懺悔スルニ

さむごく (三國)

三國 (サンコク)

さむごくちもん (三國知聞)

三國知聞 (サンコクチモン)

さむじ (三字)

三字 (サンジ)

さむじむ (三心)

三心 (サンシン)

さむぶ (三部)

三部 (サンブ)

さむぶだいじよう (三部大乘)

三部大乘 (サンブダイジョウ)

さむろんほふさうしけう (やうげんいめい) (三論法相之教)

三論法相之教 (サンロンホフサウシケウ)

牛羊眼易迷

三論法相之教牛羊眼易迷

さむろんほふさうしけう (三論法相宗等)

三論法相宗等 (サンロンホフサウシケウ)

し

し (之) ↓ しよゐしんごんし

くわんしぎやう

じ (自)

じ (助動詞)

じト

しかり (然)

シカラシメテ

未完2

しかれば(然)

シカレハ 本三三

三四4三1末四6

しくわん(止観) ↓しよゐし

んごんしくわんしぎやう

止観 末三三1

しくわんしぎやう(止観之行)

↓しよゐしんごんしくわん

しぎやう

しじふくさい(四十九歳)

四十九歳 本七一

四十九歳 本七二

しじふはちぐわん(四十八願)

四十八願 本三六

しじふはちぐわんちうせち

(四十八願中説) ↓によむり

やうじゆきやうしじふはち

ぐわんちうせち

ししや(使者) ↓ゐしやくそ

んしししやくねむぶちしい

ちもん

ししやう(四生) ↓ろくだう

ししやう

四生 本二六五

ししゆ(師主)

師主

末四一

ししむ(至心)

至心

本四5五1

ししむしんげう(至心信樂)

至心信樂 本四4六1

六4六6八4九6四5

ししむしんげうぐわんゐん

(至心信樂願為因)

至心信樂願為因 末四6

じせち(時節)

時節 本七4八3

しそくぜぐわんわうじやうぎ

やうにん(此即是願往生行人)

此即是願往生行人

本三二

しそくみやうわちかうくわう

しやうごむ(此則名曰香光莊)

嚴 此則名曰香光莊嚴

本四4

した(下)

した

末五4

したがふ(従)

シタカヒテ 本六4

シタカフテ 本六2末三1

シタカフ・コ、ロ 本四4

したふ(慕) ↓こひしたふ

ねがひしたふ

じちふたいてん(自致不退轉)

自致不退轉 本三4

じちほうど(實報土)

實報土 本二5三2三6

末五1三1

して(助詞)

シテ 本六2四1三6三4

末六2四4三5三5三4

じねん(自然)

自然ト 本二42

三5三1六1

じねんししよけん(自然之所)

率) 自然之所率

自然之所率 本三1

自然之所率 本四4

じねんに(自然)

自然ニ 本四4一八4

三4三6四5三6七6

じねんへい(自然閉)

自然閉 本三2

しばらく(暫)

シハラク 末元4元4三5

じふしやう(十聲) ↓げしじ

ふしやう・ないしじふしや

う

十聲 本七4

じふにくわう(十二光)

十二光 本三2

じふにくわうぶち(十二光佛)

十二光佛 本三5

十二光佛 本三3三6

じふにど(十二度)

十二度 本三5三4

じふによらい(十二如来)

十二如来 本三1

じふにによらいさうけいいち

こふ(十二如来相繼一劫)

十二如来相繼一劫 本三6

じふにゐいしやう(十二類生)

十二類生 末四1

じふねむ(十念) ↓ないしじ

ふねむ 本八1

十念 本八1

じふほう(十方)

十方 本四3六1

十方 本七4

じふはういちさい(十方一切) 本二五

じふはうしじゅう(十方衆生) 本四三

生)

十方衆生 本九三七四

十方世界 本四三

じふはうせかい(十方世界) 本四三

じふはうみぢんせちど(十方微塵刹土) 本四二

十方微塵刹土 本四二

しむ(助動詞) 本四一末元二

シメテ 本二四一七三

シムト 至四七五六一七四

(シ)ムルヲ 本二四五

シムル也 本三六一

しめす(示) 本二五

シメシテ 本七六

シメスト 本七四

しも(下) 本七四

シモ 本七四

しや(奢) 末三三

奢 末三三

じやう(常) 行中且抛諸雜行)

常 末五三

じやうい(正意) 末五五

正意 末五五

じやういん(正因) 末八一六二壹一

正因 末八一六二壹一

じやうかにさい(正嘉二歳) 末六一

正嘉二歳 末六一

じやうぎやう(正行) 末三一一三

正行 末三一一三

じやうぎやうじよこぶ(正行助業) 末三二四

正行助業 末三二四

じやうぐたいし(上宮太子) 本八六

上宮太子 本八六

じやうげん(鄣眼) ↓ぼむな

うしやうげん 本四一

じやうごむす(莊嚴) 本四一

莊嚴スルニ 本四一

じやうざふにぎやう(正雜二行) 末三二四

正雜二行 末三二四

じやうざふにぎやうちうたん 末三二四

はうしよざふぎやう(正雜二行中且抛諸雜行)

正雜二行中且抛諸雜行 末三三

じやうじ(生死) ↓ごだうし

やうじ・ぶそくよくりしや

うじ・るてんしやうじ

生死 末三五八六三三

西四五二

じやうしけうじゆおむどくじ

ちとうみだひぐわんしや(倩思教授恩徳實等弥陀悲願者)

倩思教授恩徳 末四一六

實等 弥陀悲願一者

じやうじしけ(生死之家) 末三三

生死之家 末三三

じやうじだいかい(生死大海) 末四三

生死大海 末四三

じやうじだいかいしだいせん

ばちやぎぼむこふしやうぢう

(生死大海之大船筏也豈煩業鄣重)

生死大海之大船筏也豈煩業鄣重 末四一

じやうじやう(清淨) 末四一

清淨 本五三

じやうじゆ(聖衆) 末十四

聖衆 末十四

じやうじゆ(成就) ↓ぐわん

じやうじゆ

じやうじん(精進) ↓すいひ

りちしやうじん

精進 末三六二

じやうせう(常照) 本九一

常照 本九一

じやうせうがしん(常照我身) 末五二

常照我身 末五二

じやうせち(淨刹) ↓あんや

うじやうせち・あんらくじ

やうせち

じやうだう(聖道) 末九二四四

聖道 末九二四四

じやうだうしよもん(聖道諸門) ↓たうぢしやうだうしよ

もんせむげうや

じやうだうもん(聖道門) ↓

たんかくしやうだうもん

聖道門 末九四三六

じやうち(誠知) 末四三

誠知 末四三

じやうちむみやうぢやうやし

だいどうこやかひちげんあむ

(誠知无明長夜之大燈炬也何

悲智眼闇)

誠知无明長夜之大燈炬

也何悲智眼闇 末四一

しやうちやう (正定)

正定 本七一七二

末三三三

しやうぢやうしこふしやそく

ぜしようぶちみやう (正定之

業者即是稱佛名)

正定之業者即是稱佛名

末三一

しやうちやうじゆ (正定聚)

正定聚 本九一五二

元一四六末四四

じやうど (浄土) ↓あんやう

じやうど・あんらくじやう

じやうど

浄土 本十一三三三三六

毛一四一七五末一三

元二五二

じやうどいちしゆしや (浄土

一宗者)

浄土二宗者

じやうとうかく (成等覺)

成等覺 末四六

じやうとうかくしようだいね

ちはん (成等覺證大涅槃)

成等覺證大涅槃 末四三

しやうとくたいし (聖徳太子)

聖徳太子 本八四二

聖徳太子 本八四三

じやうとしゆ (浄土宗)

浄土宗 本五九三

末四六

じやうどもん (浄土門) ↓せ

んにふじやうどもん・よく

にふじやうどもん

浄土門 末三二一

三二一

浄土門 末三二

じやうどろん (浄土論)

浄土論 本四四一

五五三三三三三三三三

しやうにん (聖人) ↓ぐん

くしやうにん・たいししや

うにん・ねんがたいししや

うにん・ほんししやうにん

聖人 本五五二二八五

末二四七四三六三六

じやうぶち (成佛) ↓にやく

がじやうぶち

しやく (釋迦)

釋迦 本七一

しやくによらい (釋迦如来)

釋迦如来 本四三

末三三三二

しやくみだ (釋迦弥陀)

釋迦弥陀 本五三

しやく (釋)

釋 本五五二

しやくす (釋)

釋 本五五

釋シタマフヲ

釋シタマハス

釋シタマヘルナリ 末六五

しやくそん (釋尊)

釋尊 本五五二

しやくのかさい (釋迦才)

釋迦才 本五六

釋迦才

しやく (奢促) ↓きうしや

そくしや

しやくかい (娑婆界)

娑婆界 本三二

しやくばせかい (娑婆世界)

娑婆世界 本七二末三三

しゆ (宗) ↓じやうとしゆ

じゆ (堅)

堅 本九一

しゆじ (終時) ↓みやうよく

しゆじ

しゆしがたし (修難)

修シカタシ 末三六

しゆじやう (衆生) ↓いちさ

いしゆじやう・じふはうし

やうせふしゆふしや

衆生 本四四五二

六二七五二五三三六

四七五末三一

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

しゅじやうしむ (衆生心)

衆生心 本三二6

しゅじむ (衆水)

衆水 末三4

しゆす (修)

修セムト 末三3

修シテ 末三3

修シカタク 末三6

修スヘシト 末三1

じゆす (誦)

誦セル 本六六3

しゆたら (修多羅)

修多羅 本四六3

咒 六 咒 1

修多羅 本四六4

しゆりようごむるんぐゑんじ

んくわしやう (首楞嚴院源信)

和尚)

首楞嚴院源信和尚

末三2

しよい (所以) ↓によらいし

よいこうしゆつおせ

所以 末四4

しよ (昇)

昇シヨウ 本三〇5

昇シヨウ 本三一1

擧ノヘルトウ 末三〇1

擧ノヘルトウ 末三〇1

じよ (乘)

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

じよ (乘) 本三三1

稱念シヨウネム 本八4 壹6

稱念シヨウネム 本四四5

稱念シヨウネム 末九4

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

稱念シヨウネム 末三二2

やう (所謂真言止観之行)

所謂真言止観之行 末三三6

しらす (知)

しらす (知) 本七五二4

シラセムト 本七五二4

シラセムト 本七五二4

じりき (自力) ↓ばむぶじり

自力 末三三1

自力 末三三1

じりきしやうだう (自力聖道)

自力聖道 本一九3

しる (知) ↓おもひしる

シラレ 本六六6

シリヌ 末三五三3

シリテ 末三三1

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘシ 本四三三2

シルヘキ也 末五5

シル也 本七二4

じむじやう(尋常) 本八3

信スル(連体法) 本四4

シル也 本七二4

四5四6五2五5

尋常 本五1五4

信スル也 末11

しん(信) ↓しんじちしん 本五5八3

しんじちくどく(眞實功德) 本四5

尋常 本七1

信スレハ 本六5

信 末五2五3

しんじちくどく(眞實功德) 本四5

尋常 本七1

しむせうめいきやう(心照迷境) 末三6

しむ(心) 本五2五3

眞實功德 本四5

しんしゆざいしむ(信珠在心) 末三2

心照迷境 末三6

心 本三6 一完5 六1

眞實功德相 本四4

しんじゆす(信受) 末五2

しんぞう(瞋憎) ↓とむあい

しん(盡) 本四1 五3

眞實信 本三5

しんじちしん(眞實信) 本三5

しんぞう 本六2

しんえい(眞影) 末七1

眞實信樂 本十5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しんだん(震旦) 本六2

しむくわう(心光) 本九1 七4

眞實信心 本八5 三1

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

じむぢう(深重) ↓ごくあく

しんげう(信樂) 本五4

眞實信心 本八5 三1

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しんちかうおん(神智高遠) 本六2

しんげうす(信樂) 本六3

眞實信心 本八5 三1

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しむねわみだ(心念阿弥陀) 本五5

信樂スル人 本三5

眞實信心 本八5 三1

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しんやく(新譯) 本四3

しんごん(眞言) ↓しよゐるし

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しんらくこく(新羅國) 本八4

眞言 末三6 三1 三5

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

しんらん(親鸞) 末六3

しんじち(眞實) 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

信者 本四3

眞言 本三5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5 三1

愚禿親鸞 末六3

す

す (動詞) ↓おくす・ぎやう

す (助動詞)

す・ぐす・ぐわんす・く

みやうす・くゑちぢやう

す・ごらむず・ぎむぐゑ

す・しやうごむす・しや

くす・しゆす・じゆす・

しようす・じようず・し

ようねむす・しよす・し

んげうす・しんじゆす・

しんず・せふごす・せふ

ごふしやす・せふしゆ

す・せふす・たいす・ぢ

す・ほちす・まんぞく

わうじやうす・ゑしむす

セシムト 本五4

セム 本七4 本五5

シテ 本八六1 本六3

シテモ 末三2 末三3 末三1

スト 本二四3 末二四2

末二八2 本二六1

スト (「ス」の右傍朱「ス」)

末二1

スヘシ 本二四5 末四3

セタマフ

セタマヒタリ 本六4 本四6

セタマハムスル 本八七3

セタマフナリ 本八七6

セ・タマヒタル 本六4

ず (助動詞)

スハ 本九4 十一三1

スシテ 本四1

ス 末三5 末4

ス 八4 二6 三3 三6

ス 一六4 三三5 三5 三5

ス 四二七 六四四 一

ス 三三三 三三三 三三三

ス 一八五 末三二 末4

スト 本三6

スト 三三三 三三三 二二二

スト 一八一 一四一 一五二 一六

スト 六三三 末四六 五二 三

スト 五四一 五五二 一

スト 末二八2 本二六1

六1 三1 末三5

サル也 本四5

又 (連体法) 本七6 本八4

サレハ 本五6 本七2

すいひりちしやうじん (雖非

利智精進) 末三1

雖非利智精進

すいふのうけん (雖不能見)

雖不能見 末四4

すぐ (過)

スキタルコト 末二2

すくなし (少)

スクナカラスト 本三5

すくふ (救)

スクハムト 末五1

すぐる (優)

スクレテ 本三3

スクレタリト也 本五4

スクレタル 本三5

すすむ (勸)

ス、メタマヘル 本六3

ス、メタマフニ 本七3

ス、メタマフナリ 末三2

ス、ムト也 末八4

すすめ (勸)

ス、メニ 本八1

すつ (捨) ↓たちすつ・なげ

すつ 本八6

ステスト也 本五2

ステタマハサレハ 本七1

スツト 本七1

すでに (既)

ステニ 本四1 末五5

すなはち (即)

スナワチ 本六1

九六 十五 二七 七

一九 四三 二六 三 九 四

三二 六五 四六 四 五

四六 六一 二四 六一

四一 五二 五三 六 五

七五 三三 三六 末三

二 三三 三三 三三 二 二

一 三三 三三 三三 三

すべて (捲)

スヘテ 本八二 一三

すみやかなり (速)

スミヤカニ 本三三 四 三 六

すゑ (末)

スエ 本五 5 壹 6
魏末 本五 3
末 末三 1

せ

せい(齋)

齋 本五 6 矣 5
齋 本五 1

せいかくくわしやう(聖覚和尚)
↓ほふいんせいにかくくわしやう

聖覚和尚 末四 6
聖覚和尚 末五 6 六 5

せいぐわん(誓願)
誓願 本六 2 四 5
誓願 五 6 六 4 末四 4

せいし(勢至)
勢至 本三 6 三 4 四 3

せいしきやくねむぶちあんづ
(勢至獲念佛圓通)

勢至獲念佛圓通 本三 6
せいしとう(勢至等) ↓くわんおむせいしとう

せいしほさち(勢至菩薩)
勢至菩薩 本三 6

せいめいわう(聖明王) 六 4 四 5 壹 2
聖明王 本四 5 五 6
聖明王 本五 2

せう(照) 照 末五 4

せうこく(小国) 小国 本六 2

せうしやうほむぶごくゑやく
はうぼふむかいせんたい(小聖凡夫五逆謗法无戒闍提)

小聖凡夫五逆謗法无戒闍提 末三 2

せうじやう(小乘) 小乘 本四 6 四 2

せかい(世界) ↓あんらくせかい・じふはうせかい・しやばせかい

ぜこがくるみやう(是故我歸命) 是故我歸命 本四 4

ぜこがじやうねむ(是故我常念) 是故我常念 本五 2

せしんぼさち(世親菩薩) 本四 2

世親菩薩 三 3 四 4 四 3 四 4

せそん(世尊) 世尊 本四 2

せそんがいちしむ(世尊我心) 世尊我一心 本四 2

せち(截) 截 本二 5

ぜち(絶) 絶 本二 1

せちがとくぶち(設我得佛) 設我得佛 本四 1

せちぐわんげそうぢ(説願偈) 説願偈 本四 6

ぜにん(是人) 是人 本六 2

せぶこす(攝護) 攝護セラレ 本七 4

せぶこふしや(攝護不捨) 攝護シテ 本七 2

せぶこふしやす(攝護不捨) 攝護不捨 本八 5 二 1

せふしやう(攝生) 攝生 本六 3

せふしやうぞうじやうえん(攝生増上縁) 攝生増上縁 本五 3

せふしゆ(攝取) 攝取 本四 3 末四 2

せふしゆしむくわうじやうせうご(攝取心光常照護) 攝取心光常照護 末四 1

せふしゆす(攝取) 攝取シテ 本五 5 壹 6

せふしゆふしや(攝取不捨) 攝取シタマフ 末四 6

せふしゆふしや(攝取不捨) ↓ねむぶちしゆじやうせふしゆふしや 攝取不捨 本八 6 八 5

せふす(攝) 攝シテ 本六 2

せふとくわうじやう(攝得往生) 攝得往生 本七 3

せふねむぶちにん(攝念佛人)

攝念佛人 本三六 4

ぜむ(漸)

末三二 2

せんおうくろみしやうぎやう

(選應歸正行)

末三三 6

せんおうせんしやうぢやう

(選應專正定)

末三三 5

せんかうにん(染香人)

染香人

本三三 1

ぜむけう(漸教)

やうだうしよもんぜむげう

漸教

末三三 3

ぜんこん(善根)

ぜんこん・いちさいぜんこ

せんじゆ(專修)

せんじゆ

せんじゆせんねむ(專修專念)

専修專念

末三三 3

せんじゆせんねむしぎやうじ

しぜむぐむけんむよしこむ

(專修專念之行自此漸弘無間)

無餘之勤

專修專念之行自此漸弘無

間無餘之勤

せんだい(闡提)

うぼむぶごぐみやくほうほ

ふむかいせんだい

ぜんだう(善導)

善導

本三二 2 6 2

ぜんだうくわしやう(善導和

尚)

善導和尚

末三三 4 3 6

ぜんちしき(善知識)

善知識

本三六 1

せんぢやくほんぐわん(選擇

本願)

選擇本願

末三三 6 末三三 5

せんぢやくほんぐわんねむぶ

ちしふ(選擇本願念佛集)

選擇本願念佛集

末三三 4

ぜんにふ(漸頓)

漸頓

末三三 2

せんにふ(選入)

選入

末三三 6

浄土門

選入浄土門

末三三 5

せんねむ(專念)

せんねむ

ぜんほふ(善法)

善法

末三三 6

ぞ(助詞)

ぞ(助詞) ↓ なむぞ

そう(捻)

そう(捻)

そう(僧)

そう(僧)

ぞうじやうえん(増上縁)

ぞうじやうえん

せふしやうぞうじやうえん

増上縁

本三三 5

そうぢ(捻持)

捻持

そうふるんせうせふよぶご

ふぎやうじや(捻不論照攝餘

雜業行者)

捻不論照攝餘雜業行者

本三三 1

促

そく(速)

速

そく(即)

即

ぞく(俗)

俗

そくさん(粟散)

粟散

そくさんわう(粟散王)

粟散王

粟散王

そくざむぐゑ(即懺悔)

即懺悔

そくじにふひちぢやう(即時

入必定)

即時入必定

そくじゆざぎちやうらいふち

そくにひやくぶちこん(即從

座起頂礼佛足而白佛言)

即從座起頂礼佛足而白佛

言

そくぜくるみやう(即是歸命)

即是歸命

本三三 6

そくぜごぎやう (即是其行)

そんがうしんざうめいもん

だいし (大師) ↓ねんがだい

大涅槃 (大涅槃道) 末巻6

即是其行 本六4 末4

(尊號眞像銘文) 尊號・眞像銘文 本三1

だいししやうにん (大師聖人)

大涅槃道 本三1

そくたんぶち (即嘆佛)

そんがうのしんざうのめいもん (尊號眞像銘文)

だいじだいひ (大慈大悲)

だいねちはんだう (大涅槃道) 末四5

願廻向 本三6

尊號眞像銘文 末三1

大慈大悲 末六1

だいひむくゑん (大悲无憍) 末四6

即發願廻向 本三6

た

だいじよう (大乘) 本四6 末1

だいほうかい (大寶海) 本五6

そくわうてう (即横超)

だいかい (大海) ↓しやうじ

だいじようしゆたら (大乘修多羅)

だいむりやうじゆきやうごん (大无量壽經言) 本三6

即横超 末六2

だいきやう (大經) 末四6

たいす (対) 本二九1 末1

だうぞく (道俗) 末八4

そくわうてう (即横超)

たいぐわんごふりき (大願業力)

たいせいしほふうじよごど (大勢至法王子与其同倫) 本二九1 末1

だうち (當知) 末三3

そくわうてう (即横超)

たいし (太子) ↓しやうとく

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうじしけ (當知生死之家) 末三3

そくわうてう (即横超)

たいし・じやうぐたいし・わさたいし

ちはん・むじやうだいいねちはん (大涅槃) 本二九1 末1

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

そくわうてう (即横超)

たいし・太子 本二九1 末1

たいねちはん (大涅槃) ↓じ

たうちしやうだうしよもんぜ

むげうや (當知聖道諸門漸教也)

當知聖道諸門漸教也 タウチシヤウクワシヨシヤムケウ

たうらい (當來)

當來 タウライ

たがふ (違)

タカハスシテ 本四一

タカハスト 本三三

タカフト 本三三

たすく (助)

タスケ 末五五

ただ (唯)

タ、 本八四二二

たたさま (豎)

タ、サマ 本二九二

豎 本二九一

たちすつ (絶捨)

タチステス 末五三

タチステ 本二七一八四

タチ・ステ、 本二七三

たちまちに (忽)

タチマチニ 末二〇五

たつ (立)

タチ 本二九四

たてまつる (奉) (補助動詞)

ミタテマツリ 本三三

礼シ・タテマツリ・タマヒ 本三三

ケル也 本三二

礼シ・タテマツリテ本八六 本三二

ミタテマツルヘシトナリ 本三三

恒向北禮 本三三

ホメタテマツル・ミコト、 本三三

ミタテマツルコト 本二七五

念シタテマツルト 末四五

命シ・タテマツルトナリ 本四一

タトヘ・タテマツルナリ 本三三

ミタテマツル也 末十

ホメタテマツルニ 本三二

たとふ (喩)

タトヘタルナリ 本二五

タトエタルナリ 末三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトヘタルナリ 本三三

タトエタル也 本八一

タトヘタマフ 末三

タトエテ 本八九四

タトエマフス也 本四四

タトヘタル也 末三

たね (種)

タネ 末六四

たのむ (頼)

タノミタマフ 末七

タノムヘシト也 本八

たま (珠)

タマ 末三三

たまはく (給) (補助動詞)

チカヒタマハク 本七

たまはる (賜)

タマハリヌルニハ 本八

たまふ (給) (補助動詞)

ステタマハサレハ 本五

マモリタマハスト也 本一

マモリタマハスト 本一

マモリタマハスト 本一

マモリタマハスト 本一

マモリタマハスト 本一

マモリタマハスト 本一

マモリタマハスト 本一

イテサセ・タマヒシト 本三

イテサセ・タマヒシ 本三

キコエタマヒキト也 本七

礼シ・タテマツリ・タマヒ 本三

ケル也 本二

ホメタマフテ 本三

ムマレサセタマヒタリケル 本四

ワタラセ・タマヒタリケル 本四

ナラセ・タマヒタルト 本五

ホメタマヒタル也 末

エタマフト 本一

オシエ・タマフトナリ 本三

サトリ・タマフト也 本三

オサメ・トラセ・タマフト 本六

トキタマフ 本七

ノセタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

マモリタマフト 本七

オサメ・トリタマフト也

本五6

オサメタマフト

本六1

マモリ・タマフト

本六3

マモリタマフト

本六2

ワタラセ・タマフト

本八五6

テラシ・タマフト

本五4

タトヘタマフト

末三4

テラシタマフト

末四6

ヒロメタマフト

末七4

イテタマフト

末四5

ス、メタマフト

本七3

イテサセタマフト

本三6

アラワレ・タマフナリ

三4

ナシタマフ也

本四4

撰護不捨シ・タマフユヘ也

本五4

ワタラセタマフナリ

本八七6

アラワシタマフ也

末六4

テラシ・マモリタマフユヘ

ニ

撰取シタマフユヘナリ

末四2

アオキ・タノミ・タマフ・

御コトハナリ

末五1

イテタマフ・本懐ハ

末七1

イテタマフユヘハ

末六3

テラシ・マモリタマフ・ユ

ヘニ

トキタマヘル經

末四4

ス、メタマヘル・御チカヒ

本四1

チカヒ・タマヘルナリ

本六3

チカヒタマヘル・ミノリ也

本八1

チカヒタマヘル御ノリ也

本九5

トキタマヘル・御ノリナリ

本十二

アラハシ・タマヘル御コト

本五3

ミチタマヘルナリ

本三5

ミチタマヘルナリト本四3

ネカヒ・タマヘルナリ

本七6

ナノリ・タマヘル・御コト

本四六3

ハ也

ツクリタマヘルニ

本五五

オサメ・タマヘル・ユヘニ

本三六

ホメタマヘルナリ

本六四3

トキ・タマヘル・釋迦

本六九6

チカヒ・タマヘルミノリ也

本七五1

オクラレタマヘル金銅

本七四

釋シタマヘルナリト

本六五

ため(為)

タメ

たり(助動詞)

タラ

タリ(連用形)

タリ(終止形)

タリ

タリ

タリ

タリト

本六6

獲

本十一三三

七四七

六二七

六二八

六二九

六三〇

六三一

六三二

六三三

六三四

六三五

六三六

六三七

六三八

六三九

六四〇

六四一

六四二

六四三

六四四

六四五

六四六

六四七

六四八

六四九

六五〇

タリト

本六6

獲

本十一三三

七四七

六二七

六二八

六二九

六三〇

六三一

六三二

六三三

六三四

六三五

六三六

六三七

六三八

六三九

六四〇

六四一

六四二

六四三

六四四

六四五

六四六

六四七

六四八

六四九

六五〇

且闍聖道門

末九三

往生論

註解往生論

本六二

ち

ちゆす(住)

住スル

本五八

ち(致)

本一四二

ちゆるん(註論)

註論

本六四

ち(智)

本三二三二

ちよくあくじやけん(濁悪邪見)

濁悪邪見

本五三

ちかひ(誓) ↓おむちかひ

本七二二三五三

ちよくし(勅使)

勅使

本六一

ちかふ(誓)

本八一

ちよくめい(勅命)

勅命

本三三

チカヒタマヘル本九五十二

本七二

ちらす(散)

チラセルカコトク

本九三

チカヒ・タマヘルミノリ

本七二

ちるやう(智榮)

智榮

本六二

ちしや(智者)

本九四

ちるやうぜんじ(智樂禪師)

智樂禪師

本六二

ちひさし(小)

本九三

ちる(智慧)

智慧

本八一

チヒサキ

本九三

つね(常)

尋常

本八二

ちもん(知聞)

本六二

つねに(常)

ツネニ

本九三

ちやうや(長夜) ↓むみやう

本六二

つねに(常)

ツネニ

本九三

ちやうや

本六二

つねに(常)

ツネニ

本九三

ちゆげわうじやうろん(註解)

本六二

つねに(常)

ツネニ

本九三

つ

つ(助動詞)

ツレハ 末三六 六五五

つかひ(遣) ↓おむつかひ

つ(付)

ツキテ 末三六

つぐ(継) ↓あひつぐ

つくす(盡)

ツクシテ 本六二

ツクスト 本六二

つくる(作)

ツクリタマヘル也 本六四

ツクリタマヘルニ 本五五

つたふ(伝)

ツタエ 本七一 八九六

つちのえうま(戊午)

戊午 末二一

つね(常)

ツネニ 本八二

つねに(常)

ツネニ 本九三 四六五

ツネニ 本九三 四六五

ツネニ 本九三 四六五

ツネニ 本九三 四六五

末五三五五五

五六六二二四二

一四五五三三三

本七五

本二四

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

本二二

二一 二六 三〇 一

天子

本巻 4

五 一五 四 五 六 六 三

二四 六 五 一 五 二 七 六

三〇 三〇 三三 六

てんじん (天親)

本巻 3

六 五 七 一 七 一 七 二

一六 一 六 二 六 二 六 二

三三 三 三 二 七 三

天親

本巻 3

七 六 八 五 九 二 九 三

一六 六 九 一 九 一 九 一

三六 一 二 三 四 一

てんじんぼさち (天親菩薩)

本巻 1

九 四 九 五 十 二 十 四

一六 六 九 一 九 一 九 一

三九 二 三 三 五 五

てんじんろんじゆ (天親論主)

本巻 2

二 一 二 一 二 二 二 四

二 元 二 元 二 元 四 元 五

四二 二 三 三 五 五

天親論主

本巻 2

二 六 二 六 三 二 三 三

元 六 〇 一 〇 二 〇 三

四五 五 六 三 七 三

てんぢく (天竺)

本巻 2

三 三 三 四 三 四 三 五

三 〇 五 三 一 一 三 一 三 三

五〇 五 六 二 六 三

天竺

本巻 6

二 六 三 一 三 一 三 二

三 五 三 三 六 三 一 三 二

五三 三 三 四 三 五

天竺

本巻 4

三 三 三 四 三 四 三 五

三 二 三 二 四 三 五 三 二

五六 四 一 四 二 四

てんどう (傳燈)

本巻 4

三 六 四 一 四 二 四 二

三 四 三 三 四 三 四 五

五九 三 五 三 六 五

てんどう (傳燈)

本巻 1

四 三 二 四 三 二 四 三 四 五

三 五 五 五 五 五 六 六 六 一

六二 四 六 四 六 五

てんどうえんげち (傳燈演説)

本巻 1

四 六 二 四 六 四 六 五 一

三 六 一 六 二 六 三 六 三

六五 三 五 三 六 四

傳燈演説

本巻 7

五 三 五 三 六 三 六 四

三 六 四 六 四 六 五 六 六

六八 六 五 一 六 五 一 六 六

てんどうとうほう (傳燈東方)

本巻 9

六 四 六 五 一 六 五 一 六 六

七 一 七 一 七 一 七 二

七一 二 七 四 七 五 七 五

傳燈東方

本巻 9

七 二 七 四 七 五 七 五

元 二 元 四 元 四 元 五

七六 六 二 六 二 六 二

てんまはじゆん (天魔波旬)

本巻 3

七 六 六 二 六 二 六 二

元 六 四 一 四 二 四 二

八五 一 八 六 一 八 九 二

天魔波旬

本巻 3

八 五 一 八 六 一 八 九 二

四 〇 三 四 〇 五 四 一 四 二

九三 九 三 九 五 九 五

てんわうじ (天王寺)

本巻 7

九 三 九 三 九 五 九 五

四 〇 三 四 〇 五 四 一 四 二

一〇一 〇 二 〇 三 〇 五

天王寺

本巻 7

一〇 一 〇 二 〇 三 〇 五

四 三 五 四 一 四 四 二 四 三

一〇六 〇 六 二 一 二 二

と

と (助詞)

一〇 六 〇 六 二 一 二 二

四 四 三 四 四 四 四 四 六

一一二 二 三 二 四 二 六

と

と (助詞)

一一 二 三 二 四 二 六

四 四 三 四 四 四 四 四 六

一一三 一 一 三 三 三 六

と

と (助詞)

一一 三 一 一 三 三 三 六

四 四 三 四 四 四 四 四 六

一一三 一 三 二 三 三 四

と

と (助詞)

一一 三 二 三 三 三 四

四 四 三 四 四 四 四 四 六

一一四 四 四 四 五 四 六

と

と (助詞)

一一 四 四 四 五 四 六

四 四 三 四 四 四 四 四 六

一一五 五 四 五 六 六 三

と

と (助詞)

一一 五 四 五 六 六 三

四 四 三 四 四 四 四 四 六

英2 毛1 毛1 毛2
毛3 毛5 毛6 英2
英2 英3 英6 英6
英2 英5 英1 英1
英2 英5 英6

八六三三六五四二
三五五七一七二二
壹一壹五英一英二
英二八四六六三
末英四

とし(年)
トシ
とし(疾)
トク
トシ
本五三六末八六
本五二四

とも(友)
トモ
ども(助詞)
トモ
ともしび(燈)
トモシヒ
本八六一九四六九六
末四五
末英三英六

ト(朱)

本五五

ときひろむ(説廣)

とし(利)

末元五三三

とる(取) ↓をさめとる

尋常

本八五

トキヒロメマシマス本八二

トキ

本二二

トリテ

横

本二六

とく(得)

とづ(閉)

本二二

トル(連体法)

閉

本二二

とく(説)

トツ

本二二

とん(頓)

昇

本三二

トカムト

トツル

本二二

とん(鈍)

染香人

本三二

トキタマフ

とどまる(留)

本五二

とん(鈍)

とう(等)

本三二

トキタマヘリ

と、マルト

本五二

とむあいしんぞう(貪愛瞋憎)

しとう・くゑごむとう・さ

本三二

トキタマヘル

となふ(唱)

本七三

とむあいしんぞう(貪愛瞋憎)

むろんほふさうしゆとう

本三二

トキテ

トナエム

本七三

とむあいしんぞう(貪愛瞋憎)

とうげうしゆきやう(洞曉衆)

本三二

とくしゆつじんぐわい(獨出)

トナエラレム

本七二七三

とむあいしんぞうしうんむじ

洞曉衆經

本三二

トナフルト

トナフル也

本六三

やうふくしんじちしんじむて

とうほう(東方)

本六九

とくねちはん(得涅槃)

トナフルニ

末二二

ん(貪愛瞋憎之雲霧常覆眞實)

とが(罪)

本二二

ところ(所)

トナフルハ

本三二二六四

信心天

とき(時)

本二二

とこ(系十声)

トナフルレハ

末十

とむげう(頓教)

トキ

本四二

とこ(系十声)

トオサカラス

本三三

どんごんけたい

とこ(系十声)

本二二

とこ(系十声)

とほざる(遠)

本三三

頓教

とこ(系十声)

本二二

とこ(系十声)

とほざる(遠)

本三三

頓教

とこ(系十声)

本二二

とこ(系十声)

とほざる(遠)

本三三

頓教

とこ(系十声)

本二二

とこ(系十声)

とほざる(遠)

本三三

頓教

とこ(系十声)

本二二

とこ(系十声)

とほざる(遠)

本三三

頓教

鈍^ト根^ニ解^ケ怠^イ 末六2

どむらん(曇鸞) 本五6 五6

曇鸞 本五6 五6

どむらんくわしやう(曇鸞和尚) 本五6 五6

曇鸞和尚 本五6 五6

どむらんぼふし(曇鸞法師) 本五1

曇鸞法師 本五1

な 本五6

な(名) ↓みな 本五6

齋朝^{セイヤウ} 本五2 五3 五5

魏末^{エイマツ} 本五3

高齋^{カウサイ} 本五3

名^ナ 本八四4 八五1

ないし(乃至) 本七6

乃至^{オヒト} 本七6

ないしじふしやう(乃至十聲) 本三1 三1

乃至十聲 本三1 三1

ないしじふねむ(乃至十念) 本七1

乃至十念 本七1

なか(中) 本三5

ナカ 末四2 三1 三4

ナカ(ナ)右傍 末三5

ながし(長) 末三5

ナカク 末三5

ナカキ 末三5

なげく(嘆) 末四5

ナケクヘカラス 末四5

ナケクナリ 末三5

なげすつ(投捨) 末三6

ナケステ 末三6

なし(無) ↓きはまりなし・

さだまりなし・ふたごころ

なし・へだてなし

ナカラム 本七五5

ナク 末六2

ナクシテ 末六2

ナシ 本五2 五3

ナシトナリ 本四6

ナシト也 本四6

末二3

ナシトイフ 本三1 三1

ナシトノタマヘル 本三3

ナシトマフス 本四4

ナキヲ 末五6

ナケレハ 本三5

なす(為) 本六6

ナシタマフ也 本六6

なづく(名付) 本五4

ナツクル也 本五4

なのる(名乗) 本四2

ナノリタマヘル 本四2

なほ(猶) 本六2

ナホ 本六2

猶^{ナホ} 本五3

なむぞ(何) 末三5

ナムソ 末三5

なも(南无) 本四2

南无^{ナム} 本四2

なもわみだぶち(南无阿弥陀佛) 本一5 三1

南无阿弥陀佛 本一5 三1

南无阿弥陀佛 本三3 三6

なもわみだぶちわうじやうし

ごふねむぶちるほん(南无阿

弥陀佛往生之業念佛為本)

南无阿弥陀佛往生之業念

佛為本 末七5

ならひ(習) 末五2

ナラヒ 末五2

なり(助動詞) (断定) ↓おほ

きなり 本四3

ナリ(終止形) 本四3

四5 五1 五4 八1

二6 三1 四2 五4

一9 二3 三2 四4

四6 五2 六1 六2

六5 元3 元5 三3

三1 三3 三4 三4

四5 五2 六4 六6

三九 二元 三元 六四 2

四四 四一 四四 六四 6

四四 三六 四六 二四 5

四二 四六 四七 二四 3

四一 四四 四四 二四 4

四六 五二 五三 五三 4

五一 五二 五五 五五 6

六一 六一 六六 三三 5

六四 六六 六六 二七 1

七五 七六 八二 八四 5

七六

末四 四 五 二 五 六 六

八 六 十 四 六 四 四 五

三 五 二 三 三 三 四 元 4

元 五 元 六 三 四 三 一

三 二 三 三 三 一 三 二

にやくがじやうぶち (若我成佛)

若我成佛 本三二

にやくしゆじやうしむおくぶちねむぶち (若衆生心憶佛念)

若衆生心憶佛念 本三三

にやくにんぐわんさぶち (若人願作佛)

若人願作佛 本三三

にやくふしやうじや (若不生者)

若不生者 本九三

にやくふしやうじやふしゆしやうがく (若不生者不取正覺)

若不生者不取正覺 本九二

によしゆしるにふかいいちみ (如衆水入海一味)

如衆水入海一味 末三六

によせんかうにんしんうかうげ (如染香人身有香氣)

如染香人身有香氣 本三三

によむりやうじゆきやうしじ (如來所以興出世)

如來所以興出世 末三六

ふはちぐわんちうせち (如无量壽經四十八願中說)

如无量壽經四十八願中說 本九六

によらい (如來) ↓しやかに

によらい 本三六

八二八四三五四三

一三三三三三三三

末二二二二二二二二

によらいしよいこうしゆつおせ (如來所以興出於世)

如來所以興出於世 末四二

によらいしよいこうしゆつおせよくじようぐんまうゑいし

んじちしり (如來所以興出於世欲拯群萌惠以眞實之利)

如來所以興出於世欲拯群萌惠以眞實之利 末四六

によらいしよいこうしゆつおせ (如來所以興出世)

如來所以興出世 末三六

にんのうねむぜぶちむりやうりきくどく (人能念是佛无量力功德)

人能念是佛无量力功德 本三二

ぬ (助動詞)

シリヌ 末一五

シリヌト 末四三

ナリヌト 末四三

タマハリヌルニハ 本八二

イリヌレハ 本九一

ハラシヌレハ 末三三

歸入シヌレハ 末四四

ねがひしたふ (願慕)

ネカヒシタフ 末二六

ねがふ (願)

ネカヒタマヘル 本三六

ネカフコ、ロ 本三二

ネカフ人 本三三

ネカヘト也 本三二

ねちはん (涅槃) ↓しようだ

いねちはん・とくねちはん・むじやうだいねちはん・むじやうねちはん

ねちはんしじやう (涅槃之城)

ねんがだいしじやうにん (然大師聖人)

然我大師聖人 末三三

ねんしがしゆしや (然至我宗者)

然至我宗者 末四三

ねむず (念)

念シタテマツル 本九四

念スヘシトナリ本九四

念スト也 末九六

念ストマフスハ 末九六

念スルナリ 本三三

念スレハ 本三三

ねんそく (然則)

然則 末三二

ねんそくはかいざいこんしはいかけん

にふわうじやうしだう (然則破戒罪根之輩加肩入往生之道)

往生之道

然則破戒罪根之輩加肩入住
生之道
末六六

ねむぶち (念佛)

念佛 本六一六 四二 四六
一六 一六 四六 末八一

此則名曰香光莊嚴
三七四
シソクミヤウチカククワシヤウゴム
ネムブチハチエナリ

本四五

ねむぶちぎむまい (念佛三昧)

念佛三昧 本三三

ねむぶちしゆじやうせふしゆ

ふしや(念佛衆生)攝取不捨
念佛衆生 攝取不捨 末六四

ねむみだぶち (念弥陀佛)

念弥陀佛 末九三

の

の(助詞)

ノ 本三六 四四 四四 四六
四六 五二 五二 五三
五三 五四 六二 六四
六四 六六 六六 六七
七二 七四 七六 八一
八三 八三 八四 八六

専修寺藏『尊號眞像銘文』(広本) 総索引稿

九一 十三 二二 二二 三
二四 二四 二五 二三
二五 二五 三二 三三 六

五三 五三 五五 五五 五
五五 五五 六六 六一 六一
六六 六六 六九 六九 六九 三

八一 八一 九三 九六
一〇一 一〇四 一〇五 二四
二六 三二 三三 三三 四

一四 一四 三三 四四 四四 五
一五 二一 六三 八三 九三
一九 一九 二〇 三二 二五

六三 六四 六六 六六 二
六六 六七 七一 七一 七三
六五 六五 六六 六六 六六 一

一〇一 一三 一三 一三 二
三三 三三 三三 三三 四
三四 三五 三六 三六 四

二二 三三 六三 六三 四
二四 五五 五五 六一 六三
二九 四〇 一〇 一三 二

七五 七五 七五 七五 七
七五 七五 七五 七五 七五
七五 七五 七五 七五 七五

三三 三三 三三 三三 四
三四 三五 三四 三四 二
三四 三四 三四 三四 六

三三 三三 三三 三三 二
三四 三四 三四 三四 六
三六 三六 三四 三四 六

六三 七五 七五 七五 六
七五 七五 七五 七五 七
七五 七五 七五 七五 七

三三 三三 三三 三三 三
三三 三三 三三 三三 三
三三 三三 三三 三三 三

三三 三三 三三 三三 三
三四 三四 三四 三四 三
三四 三四 三四 三四 三

八六 八六 八六 八六 八
八六 八六 八六 八六 八
八六 八六 八六 八六 八

三三 三三 三三 三三 三
三三 三三 三三 三三 三
三三 三三 三三 三三 三

四四 四四 四四 四四 四
四四 四四 四四 四四 四
四四 四四 四四 四四 四

九四 九四 九四 九四 九
九四 九四 九四 九四 九
九四 九四 九四 九四 九

四四 四四 四四 四四 四
四四 四四 四四 四四 四
四四 四四 四四 四四 四

五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五

一〇五 一〇五 一〇五 一〇五
一〇五 一〇五 一〇五 一〇五
一〇五 一〇五 一〇五 一〇五

五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五

五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五

一四一 一四一 一四一 一四一
一四一 一四一 一四一 一四一
一四一 一四一 一四一 一四一

五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五
五五 五五 五五 五五 五

禿4禿6禿1禿2
禿3禿6

さち(能念皆見化佛菩薩)
能念皆見化佛菩薩 末九4
のうほちいちねむきあいしむ

のち(後)
ノチ 末五2巻5
のぼる(昇)
ノホルトイフ 本三5三6

オノオノ、
尋常 本八3
無生忍 本六2
齋朝 本三6
魏末 本五3
魏 本五3
高齋 本五3
高齋 本五4
之初 本五4
ミツ世 本五6
釋迦才 本六6
釋迦才 本五1
善尊和尚 本六4
日本源空聖人眞影 末七1

(能發一念喜愛心)
能發一念喜愛心 末五3
のうりやうそくまんぞくくど
くだいほうかい(能令速満足
功德大寶海)
能令速満足功德大寶海 本五2

のす(乘)
ノセタマフト 本七3
のぞく(除)
ノソクトイフ 本二2

のたまはく(言・直)
ノタマハク 本五2末五6
言 本二1五5
ノタマヘリ 本三6四1
六4五6末四6

のう(能)
本五3末五4

のうねむ(能念)
本五3末五4

のうねむかいけんくゑぶちぼ

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

末九5

突3末四2四5

一八6一九1一九2一九2

一九3一九4一九5二〇1

二〇3二〇5二〇五二〇6

二一1二1二3二3二3

二6三1三2三3三4

三4三5三1三1

三3三4三4三5

三5一七6六2六2

六6九4二九6二〇2

三〇4三一1三3三6

三2三4三5三2

三三1三五5三1三2

三5三5三6三六三

三六三六三六三六

三七三七三七三七

三七五三六二六二六三

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

一八6一九1一九2一九2

一九3一九4一九5二〇1

二〇3二〇5二〇五二〇6

二一1二1二3二3二3

二6三1三2三3三4

三4三5三1三1

三3三4三4三5

三5一七6六2六2

六6九4二九6二〇2

三〇4三一1三3三6

三2三4三5三2

三三1三五5三1三2

三5三5三6三六三

三六三六三六三六

三七三七三七三七

三七五三六二六二六三

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

四四四四四四四四

三₁三₃三₃三₄
 三₄三₆三₁三₂
 三₅三₅四₄三₄三₅
 三₅六₆一₁三₃三₄
 三₅五₅六₆二₂三₃
 七₄六₆六₆三₃五₅
 七₄六₆六₆六₆六₆
 七₄六₆七₅五₅七₆
 八₂八₅八₃三₃三₅
 八₄二₂八₄三₃八₄五₅二₂
 八₆八₇二₂八₇二₂八₇五₅
 八₇六₆八₁八₂八₉二₂

六₂六₄六₅六₅六₁
 七₁七₃

末四₁四₃四₅五₁

五₃五₃五₄五₆

六₁八₃八₄八₄

八₆八₆八₆九₁

九₂九₃九₅九₅

九₆十₁十₂十₃

十₅二₂二₃二₃

二₄二₄二₅二₆

三₁三₁三₁三₃

三₅三₂三₃三₄

四₄四₆七₄七₆

八₁八₃八₅九₂

九₂九₃九₃九₅

九₆二₂二₄二₁

二₃二₅二₆三₂

三₂三₃三₆三₆

三₃三₄三₄三₅

三₄三₅三₆三₅

三₄三₅三₆三₁

三₃三₅三₁三₁

三₁三₃三₆三₁

專修寺藏『尊號眞像銘文』(広本) 総索引稿

三₄三₄三₅三₆三₅四₄

三₁三₅三₆三₇二₂

三₃三₇三₆三₆三₆三₄

三₅三₅三₁三₂三₅五₅

三₆三₆三₂三₃三₄三₄

四₂四₃三₃三₁三₄三₆

四₅四₅四₁四₄四₄四₄

四₆四₇一₁四₂四₂四₃

四₆四₆四₁四₂四₆三₃

四₄四₆四₆四₃四₃四₃

四₄四₄四₅四₆四₆四₆

五₁五₂五₂五₃五₁

五₄五₁四₄五₄五₅

五₂五₂四₄三₄三₆

五₂五₂四₂三₁三₄三₄

五₂五₆三₆三₂三₆三₄

五₆五₆五₂五₃五₃三₃

五₆五₆五₁五₆三₆三₂

本_四一₁九₄八₃

末_五二₂三₄

本_九四₄十₂三₁

三₁三₂三₅

末_十六₆三₅三₅三₅三₅

三₄三₄三₄三₁三₁三₁

五₅六₆

末_三三₃三₃

はうべん(方便)

ほうふ(謗法) ↓せうしや

うぼむぶごぐあみやくはうぼ

ふむかいせんだい

はかいむかい(破戒无戒)

破戒无戒 末_三三₃

はからひ(計)

ハカライ 本_三六₆二₂四₄三₃一₁

はからふ(計)

ハカラハサル 本_六一₁

ハカラフ(連体形) 末_三三₃

はくさいこく(百済国)

百済国 本_八四₄

はじめ(初)

ハシメ 本_三一₁

初 本_五一₁

はじめて(初)

ハシメテ 本_六一₁七₇三₃三₁

はちじふろくさい(八十六歳) 末八6

はなる(離) 悲願 末四2

ハナレムト ヒコロ 本四4 五5

ハナレテ ヒサシ(久) 末四2

ハナルト ヒサシク 本一六5

ハナル、ヲ 必_レ 本一六3 七4

はらす(晴) 必至滅度 末四4

ハラシ・ヌレハ 必_レ 本一六3 七4

はらふ(払) 必至滅度 末四4

ハラヒ 必_レ 本一六3 七4

はる(晴) 必_レ 本一六3 七4

ハレ(中止法) 必_レ 本一六3 七4

ハレテ 必_レ 本一六3 七4

ひ 必_レ 本一六3 七4

ひ(日) 必_レ 本一六3 七4

日 必_レ 本一六3 七4

ひ(彼) 必_レ 本一六3 七4

彼_ヒ 必_レ 本一六3 七4

ひく(引) 必_レ 本一六3 七4

ヒカレテ 必_レ 本一六3 七4

ヒカルル(連体法) 必_レ 本一六3 七4

ヒクナリ 必_レ 本一六3 七4

びくに(比丘尼) 必_レ 本一六3 七4

三六三 七四二 四六六

四八〇 二八三 二八四

末十二 二四二 二四五 二四六

元六 三三 四二 五三

元三

本十一 二二 六三 三三 一

本三二 三三 五三 三三 五

元四 五二 五三 四 五五

元一 末五 五三 五

元五 元三

ひとし(等) 末四二 四三

ヒトシト 末四二 四三

ひとすぢに(一筋) 本一六 六三

ヒトスチニ 本一六 六三

ひとつ(一) ↓いち 末三三 五

ヒトツ 末三三 五

ひとへに(偏) 末四四

ヒトヘニ 末四四

ひによにちぐわちふくうんむ

うんむしげみやうむあむ(譬

如日月覆雲霧雲霧之下明无

闇) 末三三 五

譬如日月覆雲霧雲霧之下

明无闇 末三三 五

ひはう(誹謗) ↓ゆいぢよ

ぐみやくひはうしやうぼふ

誹謗 本二3

ひぶちけうがねむぶぢざんま

い(彼佛教我念佛三昧)

彼佛教我念佛三昧 本三二

ひぶちしむくわうじやうせう

ぜにん(彼佛心光常照是人)

彼佛心光常照是人 本六五

ひやくだいこふ(百大劫) ↓

さむぎひやくだいこふ

ひらく(開) 末三三 四五

ヒラクト 末三三 四五

ヒラクタネ 末三三 四

ヒラクナリ 末三三 一

ヒラク也 末三三 一

ヒラケ 末三三 一

ひろし(廣) 本五三 五二

ヒロク 本五三 五二

ひろまる(廣) 末三三 五

ヒロマルト 末三三 五

ひろむ(廣) ↓ときひろむ

ヒロメオハシマスト 本七一

ヒロメタマフト 末三三 四

ふ

不思議

末三 6

ふ(経)

へス

末六 4

へテ

末三 3

ふかし(深)

フカク

本五 5 8 5

フカキ(連体法)

末九 6 五 2

ふかしぎくわうぶち(不可思議光佛)

不可思議光佛

ふくわん(普勧)

普勧

本六 6

ふくわんだうぞくねむみだぶち(普勧道俗念弥陀佛)

普勧道俗念弥陀佛

末八 3

ふくゐやくゐ(不逆違)

不逆違

末八 3

ぶこんうりどんしや(夫根有利鈍者)

夫根有利鈍者

本三 3

ふしぎ(不思議)

不思議

末元 3

ふしや(不捨) ↓せふごふし

や・せふしゆふしや・ねむ

ぶちしゆじやうせふしゆふ

しや

ふしゆしやうがく(不取正覚)

不取正覚

本九 4

ぶそくよくりしやうじ(夫速欲離生死)

夫速欲離生死

末六 5

ふたい(不退)

不退

本二四 1 二四 4 二四 6

ふたごころなし(二心無)

二心無

本五 5

ふたつ(二) ↓に

二

本二 4

ふたり(二人)

二人

末三 4 三 4

ふだんぼむなう(不断煩惱)

不断煩惱

八五 八 五 九 1

ふだんぼむなうとくねちはん

とくねちはん

末三 4

(不断煩惱得涅槃)

末三 3

ぶち(佛) ↓ほとけ

佛

本四 2

九五 十 二 四 六 末一 六 三

ぶちくわうゑんちやう(佛光)

佛光

末二四 3 二四 4

ぶちけう(佛教)

佛教

本六 六 二 六 五 末三 1

ぶちしむ(佛心)

佛心

本六 五 末二四 4 三 6

ぶちしむくわう(佛心光)

佛心光

本六 六 六 六

ぶちだう(佛道)

佛道

末三 2

ぶちほふ(佛法)

佛法

本六 六 六

へ一 六 四 末九 1 九 2

ぶちほふしや(佛法者)

佛法者

末三 二

ぶちみやう(佛名)

ふね(舟)

フネ

ふんこちかほうしざいしんか

しやし(粉骨可報之推身可謝之)

粉骨可報之推身可謝之

末四 5

へ(助詞)

へ

末三 6

へい(閉)

閉

本三 3

へいしう(并州)

并州

本二 2

べし(助詞)

マツヘカラス

本八 4

信樂スヘシト

本六 3

タノムヘシ

本八 5

往生スヘシト

本二 6

ムネトスヘシト

本四 5

ウヘシト也

本七 6 三 6

タテマツルヘシ 本三三4
念スヘシトナリ 本三六4

末六
シルヘシトナリ 本四七3 六六七1

末六 六三三4 七四六5
シルヘシト也 本四二2 三三3

末三 四三三3 三三四3 六
末二 元四四6 七1

末二 元四四6 七1
ヌルヘシト 本七三2

アルヘシト也 本七三3
シルヘシ 本八二2 八二1

末二 五一一六 二四七5 三〇6
ヒロメマシマスヘシト 本八八3

シタフヘシト也 末二6
サシオクヘシト也 末二九5

三〇三2 三五5
コ、ロウヘシト也 末三六4

オモヒシルヘシト也 末四三5
報スヘシトナリ 末四三2

ムクウヘシト也 末四三4
因トスヘシト也 末四三3

信受スヘシト也 末五三3
コ、ロフヘシトナリ 末六〇6

イルヘシト也 末六一1
歸スヘシト也 末六一1

修スヘシト也 末三三1
シルヘシト 末三三2

マトウヘシト 末四四4
オモムクヘシトナリ 末四四1

ナルヘキ・ミト 末一五1
ウヘキコト 末七五4

シルヘキ也 末九五5
へだつ(隔) 本七九3

へタテス 末九四4
へだてなし(隔無) 本五三3

へタテナク 本五三2
へタテナキ 本五二2

べちとく(別徳) 本六一3
別徳 本六一3

へんじゆ(偏數) 本七三3
偏數 本七三3

ほ 本七三3
ほうず(報) 末四三2

報スヘシト 末四三2

ほうど(報土) ↓じちほうど 佛 本元4 元5 三〇2

報土 本三三4
ぼさち(菩薩) ↓くぜぼさち・

くゑぶちぼさち・せいしほ
さち・せしんぼさち・てん

じんぼさち・のうねむかい
けんくゑぶちぼさち・ほふ

さうぼさち・りうじゆぼさ
ち 本元1 元1

ぼだい(菩提) ↓あのくぼだ
い・むじやうぼだい 末三三2

ぼたう(慕道) 末二五5
慕道 末二五5

ぼだうくゑもち(慕道化物) 末二五5
慕道化物 末二五5

ぼちしゐくゑん(汶水縣) 本五五1
汶水縣 本五五2

ぼちす(發) 末五二4
發 末五二4

ほど(程) 本七四4
ほどけ(佛) ↓ぶち 本七四4

ほうね(骨) 本五三3
ホネ 末四三2

ほういんせいかくくわしやう
(法印聖覚和尚) 末五五5

ほうふくゑ(法華) 末三三5
法華 末三三5

ほうさうしゆ(法相宗) ↓さ
むろんほふさうしゆとう

ほうざうぼさち(法藏菩薩) 本六五2
法藏菩薩 本六五2

ほうわうじ(法王子) 本元1
法王子 本元1

ほむ(誉) 本六三3
ホメタマフテ 本六三3

ホメタマツル本七五三2

ミノリ 本九五三二

彌勒 本四二

御ノリ 末四二四五

む

御ノリ 本七〇一

む(助動詞)

みやうがう(名号) 本十二二五四

ムト 本七二七六

名号 本三六末九五

二四二六三二二

名號 本七二

亮四四六三二六二

みやうじ(名字) ↓ししようが

吉六七二三四三

みやうじ 本七三

末十二六二二三

みやうちしようみやう(明知稱名)

冥五五二二五五

明知稱名 末十四

ム(連体法) 本四二七三

命欲終時 本七三

八六二二七三七四

みやこ(都) 末四三

宣五五五二

みやこ(見) 本七三

本七三三二

ミエタリ 本九二四二七六

ムヤ 末四六

みる(見) 末十二

むかい(无戒) ↓せうしやう

ミト 本三三

むかひ(无窮極)

ミタテマツリ 本三三

むかふ(向)

ミタテマツル 本三三

むくごく(无窮極)

みるく(弥勒) 本三二

無窮極

むくゆ(報) 末四三

ムクウヘシ ↓だいひむ

むくゑん(无倦)

くゑん

むげ(无碍)

本四三末五四

むげくわう(无碍光)

本四三末五三

むざい(无才) ↓むちむざい

本三三

むしやうにん(无生忍)

本三二

むじやうだいねちはん(无上大涅槃)

本二四二

むじやうだう(无上道)

末四六五三

むじやうねちはん(无上涅槃)

末二六

むじやうぼだい(无上菩提)

末三三三三

無上菩提 末四三

むず(助動詞) 本八七三

ムスルト

むちむざい(无智无才)

末三六

むなし(空)

本三二

むにん(無人)

本三六

むねと(宗)

本四三二四五三

むまる(生)

本七一

ムマレサセ 本四四

ムマレテ 本五五末一三

ムマルト 本七五

ムマル、也 本三六末三六

ムマル、(連体法) 本三五

むみやう(无明) 三三三三三三

無明 ムミヤウ 末四 4

むみやうぢやうや(无明長夜) ムミヤウチヤウヤ 末四 4

むりやう(无量) 末四 4

無量 ムリヤウ 本六 3

め

めいきやう(迷境) ↓しむせ メイクヤウ

うめいきやう ウメイクヤウ

めうけうるつとうほうにちほ メウケウルツトウホウニチホ

んこく(妙教流通東方日本国) ンコク

妙教流通東方日本国 ミョウキョウリツツウホウニッポン

めぐみ(恵) ↓おむめぐみ メグミ

めぐる(迂) メグル

迂 メグル

メクル メクル

めし(召) メシ

メシ メシ

めちど(滅度) ↓ひちしめち メチド

滅度 メチド

めでたし(愛) メダシ

メテタキ(連体法) 末三 3

も

も(助詞) モ

モ 本三 3 三三 3 五三 3

末二 2 末二 2 三三 3 三三 3

三三 3

モ(朱右傍補記)

本七 5 七 5

もし(若) モシ

モシ 本四 2 九 3 十 1

三 5 元 4 七 3 三 6

もち(物) モチ

もち(物) 末三 1

もつ(持) モツ

モタル 末六 4

モテ 本六 4

三 1 末四 1

モテル モテル

もて(以) 本四 3 三 1

モテ 本六 3

末三 1 四 1 五 6

もと(本) モト

もと(元) 本三 1

モト 本三 6

もとより(固)

モトヨリ 本五 2

もの

モノ 本七 4 七 5 七 5

末二 2 三 3 三 4 三 4

元 3 元 6

ものうし(物憂)

モノウキ 末五 2 六 1

もらす(漏)

モラス 本七 6

もる(漏)

モレス 本二 6 三 3

もろもろ(諸語)

モロ、モロ、 末三 5

もん(文)

モン 本六 3 末四 6

もん(聞)

モン 本三 4

もんみやう(聞名)

モンミヤウ 本七 5

もんみやうよくわうじやう

モンミヤウヨクワウジヤウ

(聞名欲往生)

聞名欲往生 本三 4

や

や(助詞) ヤ

ヤト 末四 6

やう(様)

ヤウ 本十 3

やうやく(漸) ヤウヤク

ヤウヤク 末三 2

やくぜぼちぐわんゑかうしぎ

ヤクゼボチグワンエカウシギ

(亦是發願廻向之義)

亦是發願廻向之義 本六 6

やすし(易) ↓ゆきやすし

ヤスク 末五 2

やぶる(破)

ヤフラレス 本六 4

やみ(闇)

ヤミ 末三 5 三 1

よ ヨ

よ ヨ

ゆいしん(唯信)

ユイシン 本十 4

唯信

唯信抄 本十 3

ゆいしんせう(唯信抄)

ゆいせちみだほんぐわんかい

(唯説弥陀本願海)

唯説弥陀本願海 末四二

ゆいぢよ(唯除)

唯除 本二一

ゆいぢよごぐるやくひほうし

やうぼふ(唯除五逆誹謗正法)

唯除五逆 誹謗正法 本十六

ゆきさる(行去)

ユキサル 本一七

ゆきやすし(行易)

ユキヤスシト也 本二二

ユキヤスク 本二四

ユキヤスキ也 本二六

ゆく(行)

ユクトイフ 本一七

ゆざい(猶在)

猶在 本五

ゆ系(故)

ユヘナリ 本五三

ユヘ也 本〇五八

ユヘニ 本一三

三三六三四二四四

六六六六六三

五五五五五三

末二五二四三三

三五五五五三

六〇三

末四九

ユヘトイフ

ユヘハ 末四二

よ(夜)

ヨ 末四九

よ(世)

ヨ世 末四九

本〇二〇三三三三

三三三三三三

三三三三三三

三三三三三三

三四四

末四二三四二四

四四四四四三

本尺一八三

本八三

本五三

本五三

カウゼイ

高齋カウゼイ

よく(欲)

欲 末四九

よくしやうがこく(欲生我國)

欲生 我國 本六五

よくしゆおしやうぎやうしや

うじよにごふちうゆぼうおじ

よごふ(欲修於正行正助二業)

中猶傍於助業 末二二

欲修於正行正助二業中

猶傍於助業 末二二

よくじようぐんまう(欲拯群萌)

欲拯 群萌 末四九

よくにふじやうどもん(欲入浄土門)

欲入 浄土門 末二二

よくよく(善善)

ヨク、 本一四

よくわうじやう(欲往生)

よくわうじやう(欲往生) ↓ 末四四

もんみやうよくわうじやう

欲往生 本三六

よごさま(横様)

ヨコサマ 本八二

ヨコサマニ 本九六

よごさまに(横様)

よごどうりん(与其同倫)

与其同倫 本九二

よし(良)

ヨク 本三三

ヨシトイフ 本三三

末九五

五五五

末二四

よぶちけうさうおう(与佛教相應)

与佛教相應 本四四

より(助詞)

ヨリ 本八二

ヨリテ 本七五

ヨルトイフ 本四三

ヨルトナリ 本四四

末二五

末二五

末二五

末二五

末二五

末二五

末二五

ヨルカユヘナリト 末三二
よろこぶ(喜) 末三二
ヨロコヒウヤマフ 末三三
ヨロコフトイフ也 末三三
ヨロコフコ、ロ 末三三
よろづ(万) 末三三
ヨロツノ 本四四 末二二

り

り(利)

り(助動詞)

ノタマヘリ

イヘリ

アヒカナヘリ

アラハセリ

ノタヘリ

タマヘリ

タマヘル(連体法)

末四一六三九五

十二五四四

四一三三六六九

一七七一七四

本八一四二

本八二六

本八二六

本八二六

ノタマヘルナリ 本三七一
末三六三六四一五

タマヘルニ

モテル人

モテルヲ

染香人

ミチミテルカコトシ

イエル御コ、ロ

アマレルモノ

イヘルコ、ロ也

誦セル文也

チラセルカコトク

オホエルナリト

モタルホト

ノタマヘル・ミコト末三三二

りうじゆぼさち(龍樹菩薩)

龍樹菩薩

末四一五

りち(利智) ↓すいひりちし

やうじん

りやう(梁) 本三七一
末三六三六四一五

りやうこく(梁國)

りやく(利益)

りやくしゆつ(略出)

りやくす(利益)

りやくせう(略抄)

りむじゆ(臨終) ↓さいごり

むじゆ

臨終

本八三三二二四六

兵三三三

る

る(助動詞)

ヤフラレス

ミタラレス

ヒカレテ

ミラレ

オクアラレタマヘル

本八〇四

ヨルカユヘナリト 末三二

よろこぶ(喜) 末三二

ヨロコヒウヤマフ 末三三

ヨロコフトイフ也 末三三

ヨロコフコ、ロ 末三三

よろづ(万) 末三三

ヨロツノ 本四四 末二二

来迎

らいがう(来迎)

らいす(礼)

礼シテ

礼シタテマツリ

礼シタテマツリテ

禮トイフハ

礼シマイラス

礼シ・マイラセケリ本八三三

らる(助動詞)

ラレサル也

ラレムト也

ラレマイラセタル 本三六一

ラルトナリ 末四四

ノタマヘルナリ 本三七一

タマヘル也 本三七一

ノタマヘルコ、ロ 本三七一

ノタマヘル也 本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

本三七一

オホハルレトモ末五三 奏6
るてんしやうじ (流転生死)
ルツシヤウシ

流転生死 本二七三

ろ

ろくぐわちにしふはちにち

(六月廿八日)

六月廿八日 末二二一

ろくじ (六字) ↓しようぶち

ろくじ 本二六六

ろくだうししやう (六道四生)

六道四生 末二四一

ろん (論)

ろん 本四三五 四四一 奏4

ろんわち (論曰)

ろんわち 本四三 四

わ

わう (横)

わう 本二八二 二八五 二八六

横 末五六一 奏6

わう (王)

わう 本五五 五七 六八 六一 六四 六

わうじ (王子) ↓ほふわうじ

わうじやう (往生) ↓せふと

くわうじやう・もんみやう

よくわうじやう

往生 本二七四 二七六 二七五

三六 二末六一 三一

往生 本二七五 三末二一

わうじやうす (往生)

往生 セムト 本三三二

往生 スヘント 本二二六

往生 スト 末一六 三六 四 三六 四

わうじやうろん (往生論)

往生 論 本四四一

わうせちごあくしゆあくしゆ

じねんへい (横截五悪趣悪趣)

自然閉 本二二一

横截五悪趣悪趣 自然閉

わうてう (横超)

横超 本二八六 二九四

わが (我)

ワカ 本六二

十一七 二八六 六

末四六 六六

わがみ (我身)

ワカミ 本四四四

末六一

わく (分)

ワカス 本二七四

わこく (和国)

和国 本六九五

和国 本六八六 六八三

和国 本六八六 六八三

わたる (渡)

ワタラセ 本八四六

五五 七三 八七 五

わち (曰)

ワレ 本四二 二九六 三三六

われ (我)

ワレ 三三六 三三七 三七一

末四一

われら (我等)

ワレラ 本二七五

末四三

ワレラカ 末五五 四

る

る (違)

違 本三三 四

るげんしん (為現身)

違 本四三 三

るしやくそんしししやくねむ

ぶちしいちもん (為釋尊之使

者弘念佛之一門)

為釋尊之使者・弘念佛之

一門 本三三 一

るぜんだうしさいたんくわん

しようみやうしいちぎやう

(為善導之再誕勸稱名之一

行)

違善導之再誕勸稱名之

一行 末三三 五

るやうしやう (永晴)

永晴 末三三 四

る

るしむす (廻心)

廻心シテ 末三三 三

説我得佛十方衆生至
心信樂欲生我國乃至
十念若不生者不取正覺
唯除五逆誹謗正法

本三二

2 ごとちほんぐわんりきもん
みやうよくわうじやうかい
しちたうひこくじちふたい
てん

(其佛本願力聞名欲往生皆
悉到彼國自致不退轉)
其佛本願力聞名欲往
生皆悉到彼國自致不退
轉

本三一

3 ひちとくてうぜちこわうじ
やうあんやうこくわうぜち
ごあくしゆあくしゆじねん
へいしようだうむぐごく
わうにむにんごくこくふぐる
やくるじねんししよけんし
ようしゆつ(必得超絶去往
生安養國横截五惡趣惡趣自
然閉昇道无窮極易往而无人

其國不道違自然之所牽抄
出)

必得超絶去往生安養國
横截五惡趣惡趣自然閉
昇道无窮極易往而无人
其國不道違自然之所牽
抄出

本三六

4 だいせいしほさちごめいも
んしゆりようごむぎやうに
のたまはくせいしねむぶち
ゑんづをえたりだいせいし
ほふわうじよごどうりんご
じふにほさちそくじゆぎき
ちやうらいぶちそくにびや
くぶちごんがおくわうじや
くごうがしやこふうぶちし
ゆつせみやうむりやうくわ
うじふにによらいさうけい
いちこふごさいごぶちみや
うてうにちぐわちくわうひ
ぶちけうがねむぶちぎむま
いないにやくしゆじやう
しむおくぶちねむぶちげん
ぜんたうらいひちちやうけ
んぶちぶちさることとほか

らずはうべんをからずじと
くしむかによせんかうに
んしんうかうけしそくみや
うわちかうくわうしやうご
むがほんいんぢいねむぶち
しむにふむしやうにんこむ
おしかいせふねむぶちにん
くろおじやうどいじやうり
やくしゆつ(大勢至菩薩御
銘文首楞嚴經言勢至獲念佛
圓通大勢至法王子與其同倫
五十二菩薩即從座起頂禮佛
足而白佛言我憶往昔恒河沙
劫有佛出世名无量光十二如
來相繼一劫其最後佛名超日
月光彼佛教我念佛三昧乃至
若衆生心憶佛念佛現前當來
必定見佛去佛不遠不假方便
自得心開如染香人身有香氣
此則名曰香光莊嚴我本因地
以念佛心入無生忍今於此界
攝念佛人歸於淨土已上略
出)

大勢至菩薩御銘文

5 りうじゆほさちごめいもん
じぶちゆびしやろんにい
はくにんのうねむせぶちむ
出)

本三三

りやうりきくどくそくじに
ふひちぢやうぜこがじなや
うねむにやくにんぐわんさ
ぶちしむねむわみだおうじ
るげんしんぜこがくみや
うもん（龍樹菩薩御銘文十
住毗婆沙論曰人能念是佛无
量力功德即時入必定是故我
常念若人願作佛心念阿弥
應時為現身是故我歸命文）

龍樹菩薩御銘文
十住毗婆沙論曰
人能念是佛 无量力功
德 即時入必定 是故我常
念 若人願作佛 心念阿弥
陀 應時為現身 是故我歸
命文 本三二

6 ばそはんづぼさちろんわち
せそんがいちしむくみみや
うじんじふほうむげくわう
によらいぐわんしやうあん
らくこくがえしゆたらしん

じちくどくさうせちぐわん
げそうぢよぶちけうさうお
うぐわんびせかいさうしよ
うぐわさむがいだうきや
うによこくくわうだいいむへ
んざい（婆藪般豆菩薩論曰
世尊我一心歸命盡十方无碍
光如来願生安樂國我依修多
羅眞實功德相說願偈捨持與
佛教相應觀彼世界相勝過三
界道究竟如虛空廣大无邊
際）

・婆藪般豆菩薩
論曰・世尊我一心・歸
命盡十方・无碍光如
来・願生安樂國・我依
修多羅・眞實功德相・說
願・偈捨持・與佛教相應・
觀・彼世界相・勝過三界
道・究竟如虛空・廣大
无邊際 本四二

7 またいはくくわんぶちほん

ぐわんりきぐむくくわしや
のうりやうそくまんぞくく
どくだいほうかい（又曰觀
佛本願力遇无空過者能令速
滿足功德大實海）
又曰・觀・佛本願力・遇
无空過者・能令速滿足・
功德大實海・ 本三三

8 せいてうのどむらんくわし
やうのしんざうのめいもん
しやくのどむらんほふしは
へいしうほちしめくゑんの
ひとなりぐゑのすゑかうせ
いのはじめなほいましきし
んちかうゑんにしてさむこ
くにちもんすあきらかにし
ゆきやうをさとることひと
りじんくわいにいてたりり
やうこくのてんしさうわう
つねにきたにむかてらんぼ
さちとらいすわうじやうろ
ん（を）ちゆげしてりやう
くわんにことほりなすこと
しやくのかさいのさむくわ
んのじやうどろんにいでた

るなりもん（齋朝曇鸞和尚
眞像銘文釋曇鸞法師者并州
汶水縣人也魏末高齋之初猶
在神智高遠三國知聞洞曉衆
經獨出人外梁國天子蕭王恒
向北禮鸞菩薩註解往生論裁
成向卷事出釋迦才三卷淨土
論也文）

齋朝・曇鸞和尚・眞
像銘文・釋・曇鸞法師
者・并・州汶水縣人
也・魏末高齋之初・猶
在・神智高遠・三
國・知聞・洞曉
衆經・獨出・人外・
梁國・天子蕭王恒・向
北・禮・三・變菩薩・註・解
往生論・裁・成・向・卷
一・事・出・釋・迦才・三

卷 淨土論 一也文

本 三 六

9 たうてうくわうみやうじの
ぜんだうくわしやうのしん
ざうのめいもんちるみやうぜ
んだうのべちとくをほめた
まふていはくぜんだうはわ
みだぶちのくゑしんなりぶ
ちのろくじをしようせばす
なはちぶちたんずるなりす
なはちさむぐゑするなりす
なはちほちぐわんゑかうな
りいちさいじやうどをぜん
ごんしやうごむするなりも
ん(唐朝光明寺善導和尚眞
像銘文智榮讚善導別德云善
導阿弥陀佛化身稱佛六字即
嘆佛即懺悔即發願廻向一切
善根莊嚴淨土文)
唐朝光明寺善導和
尚眞像銘文
智榮讚善導別德

一云善導阿弥陀佛化

身稱佛六字即
嘆佛即懺悔

即發願廻向一切善根
莊嚴淨土文本六

10 ぜんだうくわしやうのいは
くごんなもしやそくぜくゑ
みやうやくぜほちぐわんゑ
かうしぎごんわみだぶちし
やそくぜごぎやういしぎこ
ひちとくわうじやうもん

(善導和尚云言南无者即是
歸命亦是發願廻向之義言阿
弥陀佛者即是其行以斯義故
必得往生文)

善導和尚云言南无者
即是歸命亦是發願廻
向之義言阿弥陀佛者
即是其行以斯義故必
得往生文

11 またいはくごんせふしやう
ぞうじやうえんじやによむ

りやうじゆきやうしじふは
ちぐわんちうせちぶちごん
にやくがじやうぶちじふは
うしゆじやうぐわんしやう
がこくしやうがみやうじげ
しじふしやうじやうがぐわ
んりにやくふしやうじや
ふしゆしやうがくしそくぜ
ぐわんわうじやうぎやうに
んみやうよくじゆじぐわん
りきせふとくわうじやうこ
みやうせふしやうぞうじや
うえんもん(又曰言攝生憎
上緣者如无量壽經四十八願
中說佛言若我成佛十方衆生
願生我國稱我名字下至十聲
乘我願力若不生者不取正覺
此即是願往生行人命欲終時
願力攝得往生故名攝生増上
緣文)
又曰言攝生増上緣
者如无量壽經四十八
願中說佛言若我成
佛十方衆生願生我
國稱我名字下至十

聲乘我願力若不生
者不取正覺此即是願
往生行人命欲終時
願力攝得往生故名攝
生増上緣文 本六三

12 またいはくごんごねむぞう
じやうえんじやないしたん
うせんねむわみだぶちしゆ
じやうひぶちしむくわうじ
やうせうぜにんせふごふし
やそうふるんせうせふよぎ
ふごふぎやうじやくぜ
げんしやうごねむぞうじや
うえんもん(又曰言護念増
上緣者乃至但有專念阿弥陀
佛衆生彼佛心光常照是人攝
護不捨捨不論照攝餘雜業行
者此亦是現生護念増上緣
文)
又曰言護念増上緣者
乃至但有專念阿弥陀佛衆
生彼佛心光常照是人
攝護不捨不論
照攝餘雜業行者此

亦是・現生護念増上

縁・文 本三十一

13 くわうたいししやうとくご

めいもんごえんぎにいはいはく

はくさいこくせいめいめいわう

たいしあさらいしてまうさ

くきやうらいくせだいいじく

わんおむぼさちめうけうる

づとうはうにちほんこくし

じぶくさいでんとうえんぜ

ちもんしんらくのしやう

にんにちららいしてまうさ

くきやうらいくせくわんお

むだいぼさちでんととう

はうそくさんわうもん(皇

太子聖德御銘文御起曰百濟

國聖明王太子阿佐禮曰敬禮

救世大慈觀音菩薩妙教流通

東方日本國四十九歲傳燈演

說文新羅國聖人曰羅禮曰敬

礼救世觀音大菩薩傳燈東方

粟散王(文)

皇太子聖德御銘文

御縁起曰百濟國聖

明王太子阿佐禮曰

敬礼救世大慈觀音菩

薩妙教流通東方日本

國四十九歲傳燈演說

文

新羅國聖人曰羅禮

曰

敬礼救世觀音大菩

薩傳燈東方粟散王

文 本三六

14 しゆりようごむんぐゑん

しんくわしやうのめいもん

がやくざいひせふしゆしち

うぼむなうしやうげんすい

ふのうけんだいひむくゑん

じやうせうがしんもん(首

楞嚴院源信和尚銘文我亦在

彼攝取之中煩惱眼雖不能

見大悲无倦常照我身(文)

首楞嚴院源一信和

尚ノ銘文

我亦在彼攝取之中煩惱

眼雖不能見大悲

无倦常照我身

末三二

15 しめいさんごんりちしりう

くわんさんふくわんだうぞ

くねむみだぶちのうねむか

いけんくゑぶちぼさちみや

うちしようみやうわうじや

うえうじゆちぎさいぐゑん

くぼだうくゑもちしんじゆ

ざいむしむせうめいきや

うぎうんるやうしやうぶち

くわうゑんちやうけんりや

くにむしんさむぐわついち

にち(四明山權律師劉官讚

普勸道俗念弥陀佛能念皆見

化佛菩薩明知稱名往生要術

宜哉源空慕道化物信珠在心

心照迷境疑雲永晴佛光圓頂

建曆壬申三月一日

四明山權律師劉官讚

普勸道俗念弥陀佛能

念皆見化佛菩薩明知

稱名往生要術宜

哉源空慕道化物信珠

16 ひえいざんえんりやくじほ

うどうゑんくろだにぐゑん

くしやうにんのしんごうせ

んちやくほんぐわんねむぶ

ちしふにいはいくなもわみだ

ぶちわうじやうしごふねむ

ぶちゑんほんもん(比叡山延

曆寺寶幢院黒谷源空聖人眞

像選擇本願念佛集云南无阿

弥陀佛往生之業念佛為本

文

比叡山延曆寺寶幢院

黒谷源空聖人眞像

選擇本願念佛集云

南无阿弥陀佛往生之

業念佛為本文末五二

17 またいはくふそくよくくりし

やうじにしゆししようほふち

業念佛為本文末五二

南无阿弥陀佛往生之

業念佛為本文末五二

業念佛為本文末五二

うたんかくしやうだうもん
せんにふじやうどもんしやうざ
にふじやうどもんしやうざ
ふにぎやうちうたんはうし
よざふぎやうせんおうくろ
しやうぎやうよくしゆおし
やうぎやうしやうじよにこ
ふちうゆばうおじよごふせ
んおうせんしやうぢやうし
やうぢやうしごふしやそく
ぜしやうぶちみやうしやう
みやうひちとくしやうえぶ
ちほんぐわんこもん(又曰

夫速欲離生死二種勝法中且
闍聖道門選入淨土門欲入淨
土門正雜二行中且拋諸難行
選應歸正行欲修於正行正助
二業中猶傍於助業選應專正
定正定之業者即是稱佛名稱
必得生依佛本願故文)
又曰・夫速欲離生死・二
種勝法中且闍聖道門・
選入淨土門・欲入淨土
門・正雜二行中・且拋

諸難行・選應歸正行・
欲修於正行・正助二業
中・猶傍於助業・選應專
正定・正定之業者・
即是稱佛名・稱名必
得生・依佛本願故・文
末六一

18 またいはくたうちしやうじ
しけいぎぬしよしねちはん
しじやういしんるのうにふ
もん(又曰當知生死近家以
疑為所止涅槃之城以信為能
入文)
又曰當知生死近家・以
疑為所止・涅槃之城・以
信為能入・文 末七二

19 ほふいんせいかくくわしや
うのめいもんふこんうりど
むしやけううぜむとんきう
しやそくしやぎやううなん
いたうちしやうだうしよも
んぜむびやうやうなんぎやう
やじやうどいちしゆしやと
むびやうやういぎやうやしよ

ゐしんごんしくわんしぎや
うみこじやうなんがくさむ
ろんほふさうしけうごやう
げんいめいねんしがしゆし
やみだほんぐわんぢやうぎ
やういんおじふねむぜんだ
うれうけんくゑちきりやう
おさむしむすいひりちしや
うじんせんねむぢちいごむ
すいひたもんくわうがくし
んりきがふびないしねんが
だいししやうにんるしやく
そんししやぐねむぶちいち
もんぬぜんだうしさいたむ
くわんしようみやういちぎ
やうせんしゆせんねむしぎ
やうじしぜむぐむけんむよ
しごむざいこむしちねんそ
くはかいざいこんしはいか
けんにふわうじやうしだう
げちせんさいしるいしむひ
ふじやうどしもんじやうち
むみやうぢやうやしだいと
うこやがひちけんあむしや
うじたいかいしたいいせむば

ちやきぼむごふしやうちう
りやくせう(法印聖覺和尚
銘文夫根有利鈍者教有漸頓
機有奢促者行有難易當知聖
道諸門漸教也又難行也淨土
一宗者頓教也又易行也所謂
眞言止觀之行獼猴情難學三
論法相之教牛羊眼易迷然至
我宗者弥陀本願定行因於十
念善導料簡決器量於三心雖
非利智精進專念實易勤雖非
多聞廣學信力何不備然
我大師聖人為釋尊之使者弥
念佛一門為善導之再誕動稱
名一行專修念之行自此漸弱
無間無餘之勤在今始知然則
破戒罪根之輩加肩入往生之
道下智淺才之類振臂赴淨土
之門誠知无明長夜之大燈炬
也何悲智眼闍生死大海之大
船筏也豈煩業郭重略抄)
法印・聖覺和尚ノ銘文
夫根有利鈍者・教有漸
頓・機有奢促者・行有

・難易・當知・聖・道諸門・
 漸教也・又難行也・
 淨土一宗者・頓・教一也・
 又易行也・所謂眞言止
 觀之行・獼猴情・難學・
 三論法相之教・牛羊眼易
 迷・然至我宗者・弥陀本
 願・定行・因於十念・善
 導料簡・決・器量・於三
 心・雖非利智精進・專念
 實易勤・雖非多聞廣學・
 信力何不備・乃然我大師
 聖人・為釋尊之使者・
 彌念佛一門・為善導之再
 誕・勤・稱名一行・專
 修念之行自・此漸弱無・
 無間無餘之勤・在今始
 知・然則破戒罪根之輩・
 加肩入往生之道・下智淺
 才之類・振臂赴淨土之

門・誠知無明長夜之大
 燈炬也・何悲智眼闇・生
 死大海之大船筏也・豈煩
 業耶 重略抄 末壹5

20 わてうぐとくしやくのしん
 らんがしやうしんげのもん
 ほんぐわんみやうがうしや
 うぢやうごふししむしんげ
 うぐわんぬいんじやうとう
 かくしやうだいにちはんひ
 ちしめちどぐわんじやうじ
 ゆによらいしよいこうしゆ
 つせゆいせちみだほんぐわ
 んかいごぢよくあくじぐん
 しやうかいおうしんによら
 いによじちごんのうほちい
 ちねむきあいしむふだんぼ
 むなうとくねちはんぼむし
 やうぐるやくばうさいゑに
 ふによしゆしるにふかい
 ちみせふしゆしむくわうじ
 やうせうごいのうすいはむ
 みやうあむとむあいしんぞ
 うしうんむじやうふくしん

ぢちしんじむてんひひによに
 ちくわうふくうんむうんむ
 しげみやうむあむくあやく
 しんけんきやうとくだいき
 やうそくわうてうせちごあ
 くしゆもん(和朝愚禿釋親
 鸞正信偈文本願名号正定業
 至心信樂願為因成等覺證大
 涅槃必至滅度願成就如來所
 以興出世唯說弥陀本願海五
 濁惡時群生海應信如來如實
 言能發一念喜愛心不斷煩惱
 得涅槃凡聖逆誘齋廻入如衆
 水入海一味攝取心光常照護
 已能雖破无明闇貪愛瞋憎之
 雲霧常覆眞實信心天譬如日
 光覆雲霧雲霧之下无明闇獲
 信見敬得大慶即橫超截五惡
 趣文
 和朝愚禿釋親鸞
 正信偈文本願名号正
 定業・至心信樂願為
 因・成等覺證大涅槃・

必至滅度願成就・如來
 所以興出世唯說弥陀本
 願海・五濁惡時群生
 海・應信如來如實言・能
 發一念喜愛心・不斷煩惱
 得涅槃・凡聖逆誘齋廻
 入・如衆水入海一味・攝
 取心光常照護・已能雖
 破无明闇・貪愛瞋憎之雲
 霧・常覆眞實信心天・譬
 如日光覆雲霧・雲霧之下
 明无闇・獲信見敬得
 大慶・即橫超截五惡趣・
 文 末壹6